

於テハ經界ヲ表示シタル物件ヲ移轉シタル者ニ對シテモ處罰スルコトヲ規定シアリタルモ、新刑法第二百六十一條ハ物ノ損壞又ハ傷害シタル者ニ對シテノミ處罰スル規定ニシテ移轉ニ關シテハ新刑法中相當スル條文ナシ、故ニ標識ヲ移轉シタル者ニ對シテハ全然本法ニ依リ處罰スル外但書ヲ適用シ得サルモノトス

第九十二條 立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル他人ノ記號印章ヲ變更又ハ消除シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル記號印章ヲ變更消除シタルモノニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ本罪構成要素ハ(一)立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル記號印章ヲ變更又ハ消除シタルコト(二)其ノ記號印章ハ他人ノ所有物件ニ施シタルモノナラサルヘカラサルコト(三)第一立木竹トハ生枯ヲ區別セス總テ根ヨリ地上ニ立存スル木竹ヲ云

ヒ木材トハ地ヲ離レタル樹體ヲ云フモノニシテ普通ノ場合ニハ人工ヲ加ヘテ丸太、角材、板等ニ形體ヲ變更セル者ナリ、根株トハ樹木ノ根部ヲ云フモノニシテ土地ニ附着シテ殘存スルモノナリトス、論者或ハ掘採セル根株モ根株ナリト云フモ茲ニ所謂根株ハ土地ニ定着シタル殘存セルモノニシテ既ニ掘採セルモノハ木材ノ内ニ入ルヘキモノトス、而シテ記號又ハ印章ノ何物タルカハ第七十六條ニ於テ既ニ説明シタル如シ、叙上ノ物件ニ記號又ハ印章ヲ附シタルモノヲ變更消除スル所爲ナリ、故ニ其ノ物件ニシテ本條所定ノモノニアラスシテ石材、其ノ他ノ器物ナランカ假令此ニ附シタル記號印章ヲ變更消除スルモ本罪ヲ構成セス、又立木竹、木材又ハ根株ニ附シタルモノカ單ニ數字ノ如キモノニシテ記號若ハ印章ニアラサルハ亦本罪ヲ構成セサルモノトス

第二記號印章ハ他人ノ所有物件ニ附シタルモノトス

其ノ目的物件カ自己ノ所有ニ屬スルトキハ素ヨリ權利行爲ニシテ
 犯罪ヲ構成セス、元來記號印章ヲ施スハ林業家、木竹所有者等ニ於テ
 其ノ品種ヲ區別シ又ハ所有者ノ誰ナルコトヲ表示スル等ノ必要ニ
 出テタルモノナリ、然ルニ是等ノ必要アル記號印章ヲ變更又ハ消除
 スルトキハ品種ノ區別ヲ混亂シ處理ノ方法ヲ誤ラシムル虞アルノ
 ミナラス賣却木ト殘存木トノ區別ノ記號ヲ消除スルカ如キハ、不正
 手段ニヨリテ賣却以外ノ立木又ハ木材ヲ採收スルモ毫モ之ヲ區別
 スルコト能ハサルニ至ラシメ林業家又木竹所有者ノ利益ヲ損害ス
 ルコト往々ナリ、故ニ是等ヲ保護スルタメニ本條ヲ定メタルモノト
 ス、然レモ自己所有ノ物件ヲ處理上ノ都合ニ依リ一旦施シタル記號
 印章ヲ變更又ハ消除スルハ當然ノ權利ニシテ本條ノ問フ處ニアラ
 ス

處分ニ付テハ二十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

第九十三條 他人ノ森林内ニ工作物ヲ設ケタル者ハ二百

圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林ヲ開墾シタル者亦同シ
 前項ノ犯罪ニシテ保安林開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ
 六月以下ノ重禁錮及二百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ他人ノ所有權侵害ニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ森
 林所有者ノ權利ヲ保護スル處ノ規定ナリ
 本罪構成ノ要素

- 一、目的物ハ他人ノ森林ナルコト
- 二、工作物ヲ設ケタルカ又ハ開墾シタル行爲アルコト
- 四、故意アルコト
- 第一他人ノ森林ナルコト

本條ハ森林所有權ヲ保護スル處ノ規定ナルカ故ニ自己ノ所有ニ係
 ル森林ハ勿論他人ノ森林ト雖モ所有者ノ承諾ヲ得テ使用スルカ若

ハ借地スルカ又ハ地上權設定シタル者ニ付テハ本罪ヲ構成セス
第二工作物ヲ設ケタルカ又ハ開墾シタル行為アルコト

工作物トハ頗ル廣キ範圍ニシテ建物ハ勿論其ノ他假山池溝等ヲ包
合スル者ナリ、又茲ニ所謂開墾モ本法第三條規定ノ如ク地租條例ニ
規定スルモノノミナラス焼畑切替畑其ノ他土地ノ形質ヲ變更スル
行為全體ヲ指稱スルモノニシテ、廣キ意義ヲ有スルモノナリ、此等ノ
行為ヲ以テ他人ノ權利ヲ侵害シタル者ハ本條ノ制裁ヲ受クヘキモ
ノトス、故ニ假令森林所有者ノ承諾ヲ得スシテ森林ヲ使用スルモ、他
ノ規定ニ依リ制裁ヲ受クルハ格別本罪ヲ構成セス

第三故意アルコト

是レ犯罪ノ通有條件ニシテ殆ント犯罪ニ離ナルヘカラサル要素ナ
ルヲ以テ本條ニ於テ特ニ説明ヲ要セス、此ノ要素ヲ缺如スル場合ハ
本條ニ於テモ犯罪成立セサルモノナリ、故ニ自己ノ所有地ト誤認シ

境界ヲ侵シ建物ヲ建設スルカ又ハ開墾スルカ如キハ本罪ヲ構成セ
サルモノトス

處罰ニ付テハ普通森林ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處シ保安林又ハ
開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ六ヶ月以下ノ懲役ト二百圓以下ノ罰金
ヲ併科スルモノトス、即チ保安林又ハ開墾禁止ノ森林ニ關シテハ他人
ノ所有權侵害ト公安危害トノ行為アルヲ以テ普通森林ト區別ヲ爲シ
輕重ノ差ヲ立テタル所以ナラム

第九十四條 他人ノ森林内ニ於テ放牧シタル者ハ五十圓

以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ他人ノ所有權侵害ニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ慣
習等如何ナル理由アルモ所有者ノ承諾ヲ得スシテ他人ノ森林内ニ於
テ牛馬羊豚等ノ畜類ヲ放牧シタル者ニ制裁ヲ加フルモノナリ、放牧ト
ハ牛馬等ヲ森林内ニ飼養スル目的ヲ以テ入ル、ヲ云フモノナルカ故

ニ假令繩或ハ綱ヲ付ケテ曳キ入ル、モノアルモ矢張放牧ナリ、然レモ飼養スル目的ナク單ニ一時通過スルカ如キハ放牧ニアラス、又畜類ノ所有者ニ於テ放牧スルノ意思ナキモ監守ヲ怠リタル爲ニ畜類自ラ食ヲ慕フテ他人ノ森林ニ入り下草ヲ喰ヒタルカ如キハ放牧ト云フヘカラサルナリ

故ニ本條ノ罪ヲ構成スルニハ

(一)他人ノ森林内タルコト

(二)畜類飼養ノ目的ヲ以テ他人ノ森林内ニ入ルコト

(三)故意ヲ以テ放牧シタルコト

以上三要素ナカルヘカラス若シ其ノ一ヲ缺カハ本罪ヲ構成セサルモノトス

處罰ニ付テハ五十圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノトス

第九十五條 第十三條ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル者ハ

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ第十三條ノ作業制限ニ違反シタル者ヲ處罰スルコトヲ規定シタルモノトス、即チ地方長官ニ於テ第十三條列記ノ作業ヲ制限又ハ禁止シ森林法施行規則第六條ノ手續ニ依リ慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シタル後之ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス

第九十六條 第二十條ニ違反シ又ハ第二十五條第一項ノ停止ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ保安林編入處分前ニ於ケル制限ニ違背シタル者ニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ本法第十八條ニ依リ保安林ノ編入ヲナサントシテ地方長官ニ於テ慣行ノ公布式ヲ以テ其ノ旨ヲ告示シタル後ハ第二十三條ニ依リ主務大臣ニ於テ保安林ノ編入處分ヲ爲シ之カ告示ヲ爲スニハ其ノ森林ニ於テ本法第二十條ニ依リ一定ノ作業ヲ爲スコトヲ禁止セラレ又告示ハ爲ササルモ保安林編入ニ關シ豫察調査ヲ

爲ス場合ノ如キ必要アリト認ムルトキハ其ノ森林ニ於ケル木竹ノ伐採ヲ停止スルコトアリ是等ノ制限ニ違背シタル者ヲ處罰スルモノトス

第九十七條 第二十六條ニ違反シ又ハ第三十二條ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ保安林及開墾ノ制限又ハ禁止シタル森林ニ對スル制限違背ヲ處罰スル規定ナリトス、即チ何レモ國土保安ノ關係ヨリ設ケタル制度ナルモ必スシモ悉ク絶對的ニ禁止スル者ニアラス、保安林ニ於ケル作業ノ如キハ地方長官ニ於テ危害ナシト認メタルトキハ之カ作業ヲ許可スヘシ、又開墾制限ノ箇所モ同シク許可ヲ得ルニ於テハ何等支障ナキモノナリ然ルニ之カ許可ノ手續キヲ爲サ、ル場合ハ本條ノ制裁ヲ受クヘキ者トス

第九十八條 第二十七條ノ制限禁止又ハ指定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條モ保安林ニ附シタル制限禁止又ハ指定ニ違反シタル者ニ對スル處罰ヲ規定シタルモノトス、即チ主務大臣ハ保安林ノ所有者ニ對シ其ノ使用收益ヲ制限若ハ禁止シ又ハ施業若ハ保護ノ方法ヲ指定スルコトノ出來得ルハ第二十七條ノ定ムル所ナリ、即チ本條ノ制限、禁止又ハ指定ニ違反シタル制裁ナリ、而シテ本條ノ犯罪ハ森林所有者ニ限り成立スルモノトス、何トナレハ是等ノ制限、禁止又ハ指定ハ地方長官ヲシテ之ヲ保安林所有者ニ通達セシムルニ止マルモノナレハ第三者ノ其ノ通達ニ拘束セラレサルモノナレハ命令違反ノ生スル理由ナシ

第九十九條 前三條ノ場合ニ於テ木竹ヲ伐採又ハ傷害シタル者ニ對スル罰金ハ其ノ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ニ達セシムルコトヲ得

本條ハ前數條ノ補遺規定トモ稱スヘシ、即チ第九十六條ハ百圓以下第

九十七條ハ二百圓以下第九十八條ハ三十圓以下ニ過キサレハ或ハ破廉耻漢ハ經濟上ノ利害ヨリ打算シ所定ノ罰金ヲ甘ンシ制限又ハ禁止ニ係ル森林ノ木竹ヲ多量ニ伐採スルナキヲ保シ難シ故ニ豫メ斯ル徒輩ノ生セサルコトヲ期シ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ヲ科シ得ルコトトシタルモノトス

第百條 第七十六條第二號又ハ第三號ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ノ届出テ使用方ニ關スル命令ニ違反シタルモノニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ定メ所轄警察官署ニ届出テシメ森林產物ノ搬出前之ヲ使用セシムルコトハ、第七十六條第一號ノ規定スル所ナリ、故ニ斯ル場合ニハ他人ノ届出テタル記號印章ト同一又ハ類似ノ記號若ハ印章ノ使用ヲ禁止スルコトハ、第二號ノ規定スル所ナリ、此第

一號又ハ第二號ニ違反シタル者ニ對シテ、森林產物ノ運搬ヲ停止スルコトヲ得ルハ、同條第三號ノ規定スル處ナリ、然ルニ單ニ命令シタルノミニシテ之カ制裁ナキニ於テハ其ノ實効ナカルヘシ、故ニ本條ノ規定ヲ俟テ第七十六條第二號及第三號ノ實効ヲ見ルヘキモノトス

第百一條 第七十七條ノ検査ヲ拒ミタルモノハ二十圓以

下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

本條ハ第七十七條ニ規定シタル森林官吏警察官吏又ハ犯罪捜査ニ付職權ヲ有スル官吏公吏ノ検査ヲ行フコトヲ拒ミタルモノニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノニシテ、之カ處分ハ二十圓以下ノ罰金ニ處スルモノトス、然レトモ其ノ所爲ニシテ刑法ニ正條アルモノニ該當スルトキハ刑法ニ依リ處斷スヘキモノナリ、例ヘハ検査ヲ行ハントスルニ當リ其ノ公務員ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ノ如キハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處スルカ如キコト是ナリトス

第二百二條 第七十八條又ハ第七十九條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林内ニ於テ焚火ヲ爲シタル者亦同シ

本條ハ森林火災取締ニ關スル森林警察ノ規定ニ違反シタル者ニ對スル刑罰ヲ規定シタルモノトス、即チ森林又ハ之ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲サントスルトキハ、森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受ケサルヲ得ス、此等ノ土地ニ火入ヲ爲サントスルトキハ豫メ防火ノ設備ヲ爲シ且ツ接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘキ規定ナルニ、此等ノ規定ニ違背シタル者ニ對スル制裁ニシテ、之カ處分ハ五十圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノトス、此等違反ノ原因ニテ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノナリ、又他人ノ森林内ニ何等ノ理由ナク焚火ヲ爲シタル者ハ一步ヲ誤ラハ亦他人ノ森林ヲ

燒燬スルノ虞アルヲ以テ同シク二百圓以下ノ罰金ニ處スヘキモノトス

第二百三條 第七十六條第一號第四號若ハ第五號又ハ第八十一條第一項ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

本條ハ森林警察ニ關スル地方長官ノ命令ニ違反シタル者ニ對スル制裁ヲ規定シタルモノトス、即チ第七十六條第一號ハ森林產物ニ使用スル記號及印章ヲ定メ所轄警察官署ニ届出ラシメ森林產物ノ搬出前之ヲ使用セシムルコトニシテ第四號ハ森林產物ニ關スル營業者ヲシテ帳簿ヲ設ケ其ノ產物ノ出所種類、數量及仕向先ヲ記載セシムルコトナリ、又第五號ハ森林ノ危害防止ニ關スルコトノ命令若ハ處分ナリ、又第八十一條第一項ハ森林害蟲蔓延ノ虞アル場合ニ於テ地方長官ハ森林害蟲又ハ主務大臣ノ認可ヲ得タル微菌ノ驅除又ハ豫防ノ爲必要ナル

處置ヲ利害關係アル森林所有者ニ命シタルトキニ違反シタルトキノ處罰ナリトス、其ノ處分ハ拘留又ハ科料ニ處分セラル、モノトス、而シテ新刑法ニ依レハ拘留ハ一日以上三十日未滿、科料ハ十錢以上二十圓未滿ナレトモ、本條ノ刑罰ハ刑法施行法第二十四條但書ニ依リ舊刑法總則ノ期間又ハ金額ニ依ルヘキモノトス

第四百四條 第三十六條ニ依ル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

本條ハ第七章ノ罰則ノ適用セラル、範圍ヲ規定シタルモノトス即チ本法ハ森林法ナルヲ以テ之カ罰則モ純粹ノ森林ノミニ適用セラル、ハ當然ノ事理ナリト雖トモ第三十六條ノ土地ノ如キハ主務大臣ニ於テ必要アリト認メ保安林ニ關スル規定ヲ準用スルモノニシテ所謂準森林ナレハ本章ノ罰則ヲ適用スルハ是亦當然ナリトス

第九章 附則

本章ハ前各章ノ規定ニ於テ其ノ足ラサル處ヲ補ヒ以テ本法施行ニ關スル雜則ヲ規定シタルモノトス

第一百五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本條ハ此ノ改正法施行期ニ關スルコトヲ規定シタルモノトス、即チ施行期日ハ附屬法令ノ制定其ノ他事務ノ關係上法律ヲ以テ規定スルノ便ナラサルヲ以テ之カ規定ハ勅令ニ委シタルモノナリ、而シテ明治四十年十二月勅令第三百四十六號ヲ以テ本法ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行スルコト、シタルモノトス

第一百六條 北海道、沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ付テハ本法中保安林ニ關スル規定ニ限り之ヲ施行ス前項ノ外本法ノ規定ヲ施行スルノ必要アルモノハ勅令

ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得
本條ハ本法ノ施行區域ヲ定メタルモノトス、即チ北海道、沖繩縣等ニア
リテハ林業進歩ノ程度行政機關ノ組織等多少内地ト異ナル所アリテ
尙本法ヲ此等ノ地方ニ施行スルノ早キヲ以テ本法ハ此ノ地方ニ於ケ
ル森林ニハ施行セサルコトヲ明カニシ、同時ニ是等ノ地方ト雖モ公益
保護上一日モ缺クヘカラサル保安林ニ關スル規定ニ限リ施行スヘキ
コト、シタリ、其ノ他本法ノ規定ヲ施行スルノ必要アルモノハ勅令ヲ
以テ之ヲ定ムヘキコトヲ規定シタルモノトス、然レトモ同地方ニ於テ
ハ保安林ニ關スル規定其ノ他必要ナル規定ヲ施行スルモノトスルモ
人智ノ進歩程度其他行政機關ノ組織ノ異ナル等ニ依リテ直ニ本法ニ
據リ難キ點アルニ依リ、別ニ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得ヘキコ
トヲ命令ニ委任シタリ、而シテ北海道ノ保安林ニ關スル特例ハ明治四

十年十二月勅令第二百四十九號ヲ以テ之ヲ定メ、沖繩縣ノ保安林ニ關
スル特別ハ明治四十年十二月勅令第三百五十號ヲ以テ之ヲ定メ何レ
モ發布セラレタリ

第一百七條 本法施行前森林タリシモノニシテ本法施行以

前ヨリ荒廢ニ屬シタルモノハ地方長官ニ於テ造林ヲ命
スルコトヲ得

前項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者カ造林ヲ怠リタル
場合ニ付テハ第十一條ノ規定ヲ準用ス

本條ハ本法施行以前既ニ荒廢ニ屬シタル森林ノ營林監督方法ヲ規定
シタルモノトス、即チ本條第十條第一項ト異ニシテ既ニ荒廢ニ屬シタ
ルモノニ對スル營林監督ナリ、第十條ハ荒廢ノ處アルノミニシテ全ク
荒廢ニ歸セサルモノナリ故ニ若シ本條ノ規定ナキトキハ假令第十條
ノ規定アルモ本法施行以前既ニ荒廢セル森林クリシ者ニ對シテハ營

林ノ監督方法ナキニ至ルヲ以テ特ニ本條ヲ設ケタル所以ナリ、而シテ本條ニ關スル恩典ハ其納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限リ三十年以内租稅公課ヲ免セラル、コトハ第十二條ノ定ムル處トス、而シテ若シ造林ノ命令ヲ受ケナカラ造林ヲ怠リタル場合ニハ第十一條ヲ準用シ地方長官ニ於テ自ラ代執行ヲ爲スカ又ハ公共團體ヲシテ施行セシメ、其ノ費用ハ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得ルモノナリ然レトモ當局者ノ方針ハ第十一條及第三十四條ト同シク成ルヘク地上權ノ設定若ハ部分林契約ニ依ラシメ、以テ資金回收ヲ爲サシムルニアルカ如シ

第一百八條 舊法第三十條ニ依リ保安林ト爲シタルモノニシテ本法施行ノ際現ニ保安林タルモノハ之ヲ保安林トス
本條ハ從來ノ禁伐林、風致林又ハ伐木停止林タリシモノハ舊森林法施行ノ日ヨリ保安林トシテ其ノ森林ニ對スル從來ノ制限ハ依然其ノ効

力ヲ有セシメタルモノナルニ尙本法施行ノ際現ニ保安林タルモノハ保安林トシテ取扱フヘキコトヲ規定シタルモノトス

禁伐林、風致林ナル名稱ハ明治九年內務省決議官林調査假條令ニ基キタル國土保安ニ關係ヲ有スル官林ノ名稱ニシテ、伐木停止林トハ明治十五年二月一日大政官布達第三號ニ基キタル國土保安ニ關係ヲ有スル民有林ノ名稱ナリトス、是等列記ノ森林ハ保安林トシテ特別ノ保護制限ヲ加フルモ其ノ以外ノ森林ハ名稱ノ如何ニ關ハラス事實必要ノ有無ニ關セス保安林ト認メサルモノナリ、故ニ彼ノ沖繩縣ニ於ケル風水山、風水所等ノ名稱アル森林ハ國土保安ノ爲メ伐木ヲ禁止シ又ハ停止シ及其ノ土石ノ採掘ヲ禁止シタル等保安林ト同一ノ取締ヲナシタルハ往古慶長年間ノ頃ヨリ襲用シ來リタルモノニシテ流球藩ハ勿論舊森林法實施マテ襲用シ來リタルモノナレトモ舊法第三十條ニ於テハ是ヲ保安林ト認メサル者ナレハ本條又是ヲ保安林ト認メサルモノ

第九條 公有林又ハ社寺有林ニ付キ本法施行前地方長官ノ認可ヲ受ケ又ハ地方長官ニ届出テタル施業按又ハ施業要領ハ第九條ニ依ル認可ヲ受ケタル者ト見做ス

本條ハ地方長官ノ命令ニ法律上ノ効力ヲ有セシムル規定ナリトス、即チ本法施行前ト雖モ地方ニ依リテハ地方長官ハ命令ヲ發シ公有林又ハ社寺有林ニ關シ施業按又ハ施業要領ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケシメ又ハ届出テシメタル者アリ、是等ハ便宜本法第九條ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト見做シ、本法ニ依リ制裁ヲ加フルモノトス

第十條 舊法又ハ舊法ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、議決、申請、請求、手續其ノ他ノ行爲ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リテ之ヲ爲シタル者ト見做ス但シ本法ニ基キ發スル命令ニ別段

ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

本條ハ本法施行ノ際ニ於テ舊法ニ依リ爲シタル議決等ノ手續ニ關スル効力ヲ定メタルモノニシテ所謂新舊法過渡時代ニ於ケル手續キヲ定メタルモノトス

第十一條 舊法ニ依リ本法施行前ニ進行ヲ始メタル期間カ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ舊法ノ規定ニ從フ但シ其殘期カ本法施行ノ日ヨリ起算シ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ本法ノ規定ヲ適用ス

本條ハ期間ニ關シ新舊法ノ適用方ヲ規定シタルモノトス、即チ期間ノ長短ハ權利ノ消長ニ影響スルコト少カラス、故ニ新舊法比照シテ權利者カ新法以外ニ豫想シタル既得ノ權利ヲ害サル範圍ニ適用方ヲ定メタルモノナリ、例令ハ保安林編入解除ニ異議アルトキノ意見書提出

スヘキ期間ハ新舊法何レモ告示ノ日ヨリ二十五日ノ期間ナルヲ以テ
 地方長官ハ四十年十二月二十六日舊法第十二條ニ依リ告示シタルモ
 ノトスルニ直接ノ利害關係ヲ有スルモノニシテ是ニ異議アルトキハ
 四十一年一月十九日マテ意見書ヲ提出シ得ヘキモノナリ、斯ル場合ハ
 新舊法同一期間ニ付前條ノ規定アレハ別ニ疑問モ惹起セサルヘント
 雖トモ保安林ノ編入解除ノ處分ニ關シ、行政訴訟ヲ提起スル期間ハ舊
 法第十八條ニ依レハ告示ノ日ヨリ九十日以内トシ、新法第二十四條ニ
 依レハ告示ノ日ヨリ六十日以内トアリテ、其ノ期間同一ナラス、斯ノ如
 ク期間ニ差異アルトキハ二個ノ場合ヲ想像シ得ヘシ、一ハ舊法ノ期間
 ヲ短縮スル場合ニシテ一ハ舊法ノ期間ヲ全然適用スヘキ場合ナリト
 ス、則チ明治四十年十一月一日保安林編入解除處分ノ告示ヲ爲シタル
 モノト假定スレハ、新法施行ノ日即チ四十一年一月一日ハ六十二日目
 ナレハ、新法規定ノ出訴期間六十日ヲ經過スレトモ斯ル場合ニハ本條

ニ依リ舊法ノ期間(九十日)ニ從フヘキモノナリ、故ニ尙爾後二十八日間
 即チ四十一年一月二十九日マテハ出訴期間アルモノトス、反之四十年
 十二月二十六日處分ノ告示アリタルモノヲ新法施行ノ日ヨリ起算ス
 ルトキハ舊法ニ依ル殘存期間ハ尙ホ本法規定ノ期間(六十日)ヨリ長キ
 ヲ以テ本條但書ニ依リ本法規定ヲ適用スヘキモノトス

第一百十二條 舊法第二十六條ニ依ル補償ノ請求ハ本法施
 行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過スルトキハ之ヲ爲スコトヲ得

本條ハ舊法ニ依リ保安林ノ編入解除ノ處分ニ關シ、行政訴訟ヲ提起スル期間ハ舊
 法第十八條ニ依リ告示ノ日ヨリ九十日以内トシ、新法第二十四條ニ依リ告示ノ日ヨリ六十日
 以内トアリテ、其ノ期間同一ナラス、斯ノ如ク期間ニ差異アルトキハ二個ノ場合ヲ想像シ得ヘシ、
 一ハ舊法ノ期間ヲ短縮スル場合ニシテ一ハ舊法ノ期間ヲ全然適用スヘキ場合ナリトス、
 則チ明治四十年十一月一日保安林編入解除處分ノ告示ヲ爲シタルモノト假定スレハ、
 新法施行ノ日即チ四十一年一月一日ハ六十二日目ナレハ、新法規定ノ出訴期間六十日ヲ
 經過スレトモ斯ル場合ニハ本條ニ依リ舊法ノ期間(九十日)ニ從フヘキモノナリ、
 故ニ尙爾後二十八日間即チ四十一年一月二十九日マテハ出訴期間アルモノトス、
 反之四十年十二月二十六日處分ノ告示アリタルモノヲ新法施行ノ日ヨリ起算ス
 ルトキハ舊法ニ依ル殘存期間ハ尙ホ本法規定ノ期間(六十日)ヨリ長キヲ以テ
 本條但書ニ依リ本法規定ヲ適用スヘキモノトス

改正 森林法釋義 終

附 錄

◎森林法施行期日ノ件

勅令第三百四十六號
明治四十年十二月二十五日

森林法ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎地方森林會規則

勅令第三百四十七號
明治四十年十二月二十五日

- 第一條 地方森林會ハ農商務大臣ノ監督ニ屬シ森林法ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ審議ス
- 第二條 地方森林會ハ會長一人議員十四人以內ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第三條 地方森林會ノ會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ地方長官事故アルトキハ其ノ代理者之ニ代ハル
- 議員ハ左ニ掲クル者ニ就キ農商務大臣之ヲ命ス
- 一 府縣高等官 二人
 - 二 大林區署高等官 一人
 - 三 鑛山監督署高等官 一人
 - 四 府縣名譽職參事會員中ヨリ互選シタル者 二人
 - 五 森林事業ニ經驗アル者
 - 六 治水、土木、鑛山、農業又ハ水産事業ニ經驗アル者

前項ニ掲クル者ノ外御料地所在ノ府縣ニ在リテハ帝室林野管理局高等官ヲ議員ニ命スルコトヲ得

第四條 會長ハ會務ヲ統理シ會ヲ代表シ會議ノ議長ト爲ル

第五條 官吏ニシテ議員タル者ノ外議員ノ任期ハ二年トス但シ府縣名譽職參事會員ノ互選ニ係ル者ノ任期ハ府縣名譽職參事會員ノ任期ニ依ル

第五條ノ二 第三條第二項第五號又ハ第六號ニ該當スル爲議員ヲ命セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農商務大臣其ノ職ヲ免スルコトヲ得(明治四十二年五月十日勅令第一三七號追加)

一 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告確定シタルトキ

二 租稅滯納處分ヲ受ケタルトキ

三 家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ

四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第六條 地方森林會ニ幹事一人書記若干人ヲ置ク幹事ハ府縣高等官中ヨリ書記ハ府縣判任官中ヨリ地方長官之ヲ命ス

第七條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記ハ會長又ハ幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第八條 地方森林會ノ審議スヘキ事項ニシテ其ノ利害關係ニ府縣以上ニ涉ルモノニ付關係地方官中必要アリト認ムル者アルトキハ關係地方森林會聯合シテ開會スヘシ其ノ開會地及開會、閉會ノ期日並其ノ召集ニ關スル事項ハ關係地方長官之ヲ協定シ審議事項ト共ニ開會前之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第九條 聯合地方森林會ハ關係地方森林會ノ議員ヲ以テ組織シ其ノ議長、幹事、書記ハ開會地ノ地方森林會ノ會長、幹事、書記ヲ以テ之ニ充テ其ノ會務規則ハ開會地地方森林會ノ規則ニ依ル

聯合地方森林會ノ決議ハ關係地方森林會ノ決議ト看做ス

第十條 議員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ事件ノ審議ニ參與スルコトヲ得ス

一 保安林ノ編入解除ニ付テハ申請者、森林法第十八條ノ通知ヲ受ケタル者及之ニ屬スル既存ノ權利ヲ承繼シタル者

二 森林法ニ依ル裁決ニ付テハ當事者、土地所有者及同法第三十八條ノ關係人

議員前項各號ノ一ニ該當スル者ノ配偶者、四親等内ノ親族、戶主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ前項各號ノ一ニ該當スル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員並法人ノ役員ナルトキ亦前項ニ同シ

第十一條 森林法ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ申請シタル者アルトキハ會長之ヲ相手方ニ通知スヘシ

第十二條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ其ノ通知後二週間内ニ意見書ヲ地方森林會ニ提出スルコトヲ得

第十三條 地方森林會ハ前條ノ期間經過後ニ非サレハ裁決ノ申請ニ係ル事件ヲ審議スルコトヲ得

第十四條 裁決ハ其ノ當事者ノ申立テタル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條 裁決ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十六條 地方森林會ニ於テ裁決ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十條ノ規定ハ前項ノ鑑定人ニ之ヲ準用ス

第十七條 地方森林會ニ於テ必要アリト認ムルトキハ當事者又ハ利害關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽キ又ハ利害關係ヲ有セサル者ヲ呼出シ事實參考ノ爲其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第十八條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 會長、官吏ニシテ議員タル者、幹事及書記ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ニ充ツ

第二十條 前條ノ費用ヲ除クノ外鑑定人、事實參考人及議員ノ旅費、手當其ノ他地方森林會ノ費用ハ府縣ノ負擔トス但シ聯合地方森林會ニ付テハ議員ノ旅費手當ヲ除クノ外開會地府縣ノ負擔トス

第二十一條 地方森林會ニ於テ裁決ニ關シ要スル費用中左ニ掲クルモノハ府縣ニ於テ起業者ヨリ之ヲ徵收ス

一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當

二 裁決書謄本ノ調製費

三 郵便及電信料

四 備人料

五 其ノ他農商務大臣ノ指定シタルモノ

第二十二條 前條ノ規定ハ第二十三條ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ地方森林會ニ要スル費用ニ付之ヲ適用セス

第二十三條 地方森林會カ其ノ權限ヲ超ユ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル決議及裁決ハ農商務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第二十四條 地方森林會ハ會務處理ノ爲必要ナル規則ヲ議定シ農商務大臣ニ報告スヘシ

前項ノ規則ニ對シ農商務大臣ハ更正ヲ命スルコトヲ得

第二十五條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 鑑定人トシテ地方森林會ニ呼出サレタル者詐欺ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐欺ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第二十七條 鑑定人又ハ事實參考人故ナク出頭セサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ地方森林會議員タル者ハ本令ニ依リ各其ノ職ヲ命セラレタルモノト看做ス但シ其ノ任期ハ前後通算ス

◎森林組合令

勅令第三百四十八號
明治四十年十二月二十五日

第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ森林法第五章ニ依リ設立スル森林組合ヲ謂フ

第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ森林組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第三條 組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 組合ノ定款ニハ森林法及本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 役員ニ關スル規定

二 會議ニ關スル規定

- 三 組合員ノ議決權ニ關スル規定
- 四 財産ノ管理又ハ處分ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ方法
- 五 組合員ノ義務ニ違反セル場合ニ於ケル違約金ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 六 森林ノ主伐收益ヲ爲ス組合ニ在リテハ立竹木ノ權利及産物ノ處分並收益分配ニ關スル規定
- 第五條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ
前項ノ總會ニハ總組合員ノ三分ノ二以上ニシテ總議決權ノ三分ノ二以上ニ當ル組合員ノ出席アルコトヲ要ス
- 第六條 組合設立ノ登記ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ
登記スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 森林法第六十八條第一項ニ掲タル事項
 - 二 設立許可ノ年月日
 - 三 理事及監事ノ氏名、住所
 前項ニ掲クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第七條 民法第四十五條第三項及第四十八條ノ規定ハ之ヲ組合ニ準用ス但シ同規定中一週間ノ期間ハ之ヲ二週間トス
- 第八條 前二條ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ許可書又ハ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

- 第九條 森林法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ組合員タル森林所有者ニ於テ又ハ之ニ對シテ爲スヘキ手續其ノ他ノ行爲ニシテ其ノ組合ノ事業ニ關スルモノニ付テハ其ノ組合ハ組合員ヲ代表ス
- 第十條 森林所有者ノ承繼人ハ其ノ承繼シタル權利ノ限度ニ於テ被承繼人カ組合員トシテ有スル權利義務ヲ承繼ス
前項ノ規定ハ新ニ森林法第二條ニ依リ森林所有者ト爲リタル者又ハ其ノ權利消滅ニ因リテ森林所有者タルモノニ之ヲ準用ス
前二項ノ場合ニ於テハ組合ニ通知ヲ爲スニ非サレハ權利義務ノ承繼ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第一項及第二項ノ規定ニ依リ利益ヲ受ケタル者ハ損失ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ利益ノ限度ニ於テ之ヲ補償スヘシ
- 第十一條 組合員ニ於テ地區内ノ森林ヲ森林以外ノ土地ト爲シタルトキ又ハ地區内ニ於ケル森林以外ノ土地ヲ新ニ森林ト爲シタルトキハ組合ニ之ヲ通知スヘシ
- 第十二條 組合員カ地區内ノ森林ヲ森林以外ノ土地ト爲シタルトキニ於テ組合ト該組合員トノ間ノ計算ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
地區ヲ減少セル場合ニ於テ其ノ減少セル區域内ノ森林ノ屬スル組合員ト組合トノ間ノ計算ニ付テモ亦前項ニ同シ
- 第十三條 組合ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備置クヘシ
組合ハ組合員名簿、財産目録、事業報告書及決算書ヲ主タル事務所ニ備置クヘシ

事業ノ計劃書、設計書、貸借對照表、事業成績書又ハ損益分配計算書ヲ作成シタル場合ニ於テハ其ノ書類ニ付亦前項ニ同シ

前三項ノ書類ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

第十四條 組合ハ組合員ヨリ前條ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス組合ノ債權者其ノ他利害關係ヲ有スル者事業計劃書、設計書及事業成績書ヲ除クノ外前條ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキ亦同シ

第十五條 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 二 組合員ニ屬スル森林ノ所在、地番及面積
 - 三 森林法第二條ニ依ル森林所有者ニ付テハ其ノ權利ノ種類及存續期間
 - 四 組合員ノ出資又ハ費用分擔ノ割合
 - 五 森林ノ主伐收益ヲ爲ス組合ニ在リテハ組合員ニ對スル收益分配ノ割合
- 第十六條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 經濟ノ收支豫算
 - 二 起債
 - 三 重要ナル權利ノ處分
 - 四 事業ノ計劃、設計
 - 五 每事業年度ニ於ケル事業ノ豫定
- 第十七條 組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

監事ハ理事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

民法施行法第二十七條ノ規定ハ組合ノ理事及監事ニ之ヲ準用ス

第十八條 理事ノ任期ハ三年以内ニ於テ監事ノ任期ハ一年以内ニ於テ定款ヲ以テ之ヲ定ム但シ任期滿了ノ時ニ於テ再選ヲ妨ケス

第十九條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十條 第五條第二項ノ規定ハ理事及監事ノ選任ノ場合並解任ノ決議ニ之ヲ準用ス

第二十一條 民法第四十四條第一項ノ規定ハ組合ニ、同法第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ組合ノ理事ニ、同法第五十九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第二十二條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキ又ハ其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員中ヨリ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十三條 組合ハ少クとも每事業年度一回組合員ノ通常總會ヲ開クヘシ臨時總會ハ何時ニテモ之ヲ招集スルコトヲ得

通常總會ハ財産目錄、事業報告書及決算書ヲ調査ス貸借對照表及事業成績書ヲ作成スル組合ニ在リテハ其ノ書類ニ付亦同シ

前項ノ書類ハ通常總會ノ日ヨリ一週間前監事ニ提出スヘシ

第二十四條 總組合員ノ五分ノ一以下ニシテ總議決權ノ五分ノ一以上ニ當ル組合員カ會議ノ目的タル事項ヲ示シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 民法第六十二條、第六十四條及第六十六條ノ規定ハ組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第二十六條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

各組合員ノ議決權ハ一箇以上トス但シ議決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十七條 組合員ハ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第一項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第二十八條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

各總代ノ議決權ハ其ノ代表セル組合員ノ有スル議決權ノ數ニ依ル

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ解散又ハ合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條 組合ノ事業年度ハ一年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 合併

四 破産

五 監督官廳ノ處分

第三十一條 合併及解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ三分ノ二以上出席シ總議決權ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

合併及解散ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十二條 組合カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第三十三條 債權者ハ前條第二項ノ期間内ニ合併ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條 組合カ解散シタルトキハ組合ハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ且合併ノ場合ヲ除クノ外之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

清算中ニ就職シタル清算人アルトキハ組合ハ其ノ就職後二週間内ニ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ニ依リ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十五條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続
スル場合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記
ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ
權利義務ヲ承繼ス

第三十六條 組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合若ハ
債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘシ

第三十七條 清算人ハ就職後遲滞ナク財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り財
産處分ノ方法ヲ定メ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ

第三十八條 清算中ノ組合ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非
サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第三十九條 清算事務終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り總會ノ承認ヲ受
クヘシ

第四十條 清算中ノ組合ハ清算人就職ノ日ヨリ二月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權
者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月
ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラル
ヘキ旨ヲ附記スヘシ但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス
組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

第四十一條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ組合ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引
渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 清算中ノ組合ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタル
トキハ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其ノ旨ヲ公告スヘシ

清算人カ破産管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任ヲ終リタルモノトス
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産
管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第四十三條 組合カ前條第一項、第三十二條第二項及第四十條ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告
ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十四條 民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條、第八十二條及第八十三條ノ規
定ハ組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第四十五條 民法施行法第二條、第二十五條及非訟事件手續法第三十五條第三項、第三十
六條、第三百三十六條乃至第三百三十八條ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 左ノ場合ニ於テ組合ハ命令ノ規定ニ違反シタルモノト看做ス
一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第十三條ノ書類ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
三 監督官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス、其ノ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分
ニ從ハサルトキ

四 第三十二條、第四十條又ハ第四十二條ニ依ル公告ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
五 第四十條ノ期間内ニ債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキ

第四十七條 組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四十八條 各登記所ニ森林組合登記簿ヲ備フ

第四十九條 組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款及地方長官ノ設立許可書若ハ合併認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第五十條 事務所新設及移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事若ハ其ノ職務ヲ行フ者又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

假理事カ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 組合解散ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス

前項登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議又ハ合併ニ依リテ解散シタルトキハ地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第五十二條 合併ニ依ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第三十二條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

組合カ監督官廳ノ處分ニ依リテ解散シタルトキハ登記所ハ該官廳ノ囑託ニ依リテ其ノ登

記ヲ爲スヘシ

第五十三條 第四十九條第一項ノ規定ハ組合ノ合併ニ依ル變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第五十四條 本令ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

第五十五條 非訟事件手續法第四百四十一條乃至第五百一十一條、第五百四十四條乃至第五百五十七條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎北海道保安林ニ關スル特例ノ件

勅令第三百四十九號 明治四十年十二月二十五日

第一條 森林法第十四條、第十五條、第二十七條、第三十二條及第三十六條ノ規定中主務大臣ノ職權ハ北海道ニ在リテハ道廳長官之ヲ行フ

第二條 森林法第十六條第一項ノ申請ハ北海道ニ在リテハ道廳長官之ヲ爲スヘシ

第三條 森林法第二十三條ノ規定ニ依ル官報ノ告示ハ北海道ニ在リテハ道廳長官ニ於テ道廳公布式ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四條 北海道ニ於ケル區役所戶長役場ハ森林法第十八條第一項及第二十三條ノ場合ニ於テハ市町村役場ニ該當ス

第五條 森林法第二十四條ニ依ル訴願ハ北海道ニ在リテハ内務大臣ニ之ヲ爲スヘシ

第六條 森林法中地方森林會ニ關スル規定ハ當分ノ内北海道ニ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 錄

北海道保安林編入解除手續ハ之ヲ廢止ス

二三三

◎沖繩縣ノ保安林ニ關スル特例ノ件

勅令第三百五十號
明治四十年十二月二十五日

第一條 森林法中地方森林會ニ關スル規定ハ當分ノ内沖繩縣ニ之ヲ適用セス

第二條 森林法第十八條第一項又ハ第二十三條ノ規定ニ依ル揭示ハ沖繩縣ニ於テハ之ヲ區役所、間切役場又ハ島役場ニ爲スヘシ

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年勅令第四百四十四號及沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ノ保安林編入解除ニ關スル手續ハ之ヲ廢止ス

◎森林法施行規則

農商務省令第二十一號
明治四十年十二月二十六日

森林法施行規則左ノ通定ム

森林法施行規則

第一條 公共團體又ハ社寺カ森林ヲ得喪シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ代表者ハ遲滯ナク第一號様式ニ準シテ届書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

公共團體又ハ社寺ニ屬スル土地カ森林タルニ至リシトキハ其ノ代表者ハ遲滯ナク第二號様式ニ準シテ届書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル原野、山嶽、荒蕪地又ハ森林タリシモノニシテ現ニ荒蕪セルモノニ付森林トシテ管理スヘキモノト否トヲ區

分シ第三號様式ニ準シテ區分書ヲ作り地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

地方長官ハ區分ヲ更正シテ前項ノ認可ヲ與フルコトヲ得

前二項ニ依リ認可ヲ受ケタル區分ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付第四號又ハ第五號様式ニ準シテ管理ノ方法ヲ記載シタル届書ヲ作り

地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ但シ地方長官ニ於テ森林法第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケシムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ届出テタル方法ヲ變更シタルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四條 第十條ノ規定ハ森林法第十條ノ規定ニ依リ施業方法ヲ指定シ若ハ造林ヲ命シタル者ニ之ヲ準用ス

第五條 森林法第十一條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ

第六條 森林法第十三條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ハ慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第七條 保安林編入解除ノ申請書ハ第六號様式ニ準シテ之ヲ作り第七號又ハ第八號様式ニ準シテ作りタル圖面ヲ添附スヘシ但シ全部ノ解除ニ付テハ圖面ノ添附ヲ要セス

第八條 森林法第十七條ノ規定ニ依リ申請書ヲ却下スル場合ニ於テハ理由ヲ附シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第九條 保安林ノ編入解除ニ關スル處分ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ遲滯ナク森林法

第二十三條ノ通知及揭示ヲ爲スヘシ

第十條 保安林ニ關シ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項發生シタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ都度之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ森林法第十八條ノ規定ニ依ル告示アリタル森林ニ關シテモ亦同シ

一 森林所有者ノ變更

二 地番ノ分合

三 地形又ハ林相ノ異動但シ輕微ナルモノヲ除ク

前項第一號ノ届出ハ新ニ所有者トナリシ者ニ於テ之ヲ爲シ届書ニ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十一條 農商務大臣ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ地方長官ヲシテ之ヲ保安林所有者ニ通達セシムヘシ

第十二條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ行フヘシ

第十三條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損害ハ其ノ伐採禁止ノ當時存在スル森林立木竹ヲ普通保安林ノ立木竹トシテ價額ヲ見續リ其ノ價額ノ年利五厘ニ相當スル金額ヲ以テ毎年ノ直接損害額ト看做シ之ヲ算定スヘシ

前項損害ノ算定ニ付テハ其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採禁止ノ當時其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ其ノ伐期ニ達シタル當時ノ立木竹ノ時價ヨリ三割ヲ減シタルモノヲ以テ普通保安林ノ立木竹ノ價額ト看做ス但シ地方長官ニ於テ必要ト認メタルトキハ時價ニ對スル割引ノ歩合ヲ増減スルコトヲ得

第十四條 伐期ニ達セサル森林ニ付テハ其ノ伐期ニ達シタル年ヨリ前條ノ補償ヲ爲スモノトス

前項ノ伐期ハ農商務大臣ニ於テ樹種作業別及地方ノ慣行等ヲ斟酌シテ之ヲ定メ伐採禁止ノ際地方長官ヲシテ之ヲ保安林所有者ニ通達セシムヘシ

第十五條 森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害額ハ造林ニ要シタル實費額ニ依ルモノトス

第十六條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採禁止ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ九十日、其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ第十四條第二項ノ規定ニ依リ定マリタル伐期ニ達シタル年ノ初日ヨリ末日迄トス

森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ各年分ニ付翌年三月三十一日迄トス

第十七條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ヲ請求セムトスル者ハ請求書ニ損害算定書ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ請求者ニシテ立木竹ノミノ所有者ナルトキハ其ノ所有ヲ證スヘキ書面ヲ請求書ニ添附スヘシ

第十八條 森林法第二十八條第三項但書ノ規定ニ依ル負擔ノ要否及其ノ金額ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ決定スヘシ

前項ノ負擔金額ハ地方長官ニ於テ之ヲ徵收ス

第十九條 森林法第三十二條ノ規定ニ依ル開墾ノ制限又ハ禁止ハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二十條 森林法第四十條ノ規定ニ依リ土地使用ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ事業計劃書及圖面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用スヘキ土地ノ所在、地番、種目、所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 二 使用面積
- 三 使用ノ時期及期間
- 四 使用ノ目的

第二十一條 使用スヘキ土地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ前條ノ申請書ニ添附スヘシ

- 一 御料墓地及御料地
- 二 國有地
- 三 現ニ公用ニ供スル土地
- 四 社寺境内地
- 五 名所、舊跡古墳墓

第二十二條 前二條ノ規定ハ森林法第四十條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 森林法第四十條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ得又ハ協議調ヒタル後同條同項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ帝室林野管理局又ハ政府ニ在リテハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ届書又ハ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 森林法第五十五條ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求メムトスル者ハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出スヘシ

- 一 申請人及相手方ノ氏名、名稱、住所
- 二 使用又ハ收用スヘキ土地ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 三 申請ノ目的及理由
- 四 立證方法

第二十五條 森林法第五十六條ノ規定ニ依リ土地收用法第六十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ爲ス公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 第二十條乃至第二十五條ノ規定ハ森林法第五十七條ノ規定ニ依ル水ノ使用ニ關スル權利、其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ使用又ハ收用ニ之ヲ準用ス

第二十七條 森林法第五十八條ノ規定ニ依リ工作物ノ使用、變更又ハ除却ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ事業計劃書及必要ノ圖面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ種類、所在、位置等
 - 二 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
 - 三 使用、變更又ハ除却ノ時期及期間
 - 四 使用、變更又ハ除却ノ目的
 - 五 其ノ他工作物ノ使用、變更又ハ除却ニ關スル重要ノ事項
- 第二十八條 前條ノ規定ハ森林法第五十八條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 第二十三條ノ規定ハ工作物ヲ使用シ、變更シ又ハ除却スルコトヲ廢止シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 第二十四條ノ規定ハ森林法第五十八條第三項ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求ムル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 地方森林會ノ裁決ハ會長ニ於テ其ノ臆本ヲ當事者ニ交付スヘシ

第三十二條 森林法第六十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採セムトスル者ハ地方長官ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三十三條 森林法第六十七條但書ノ規定ニ基キ森林組合ニ加入ノ義務ナシト定メタル者ノ員數及其ノ所有ニ係ル森林面積ハ之ヲ同法第六十六條各號ノ計算ニ加ヘス

第三十四條 森林組合設立ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ定款ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ示シ期間ヲ指定シテ意見ヲ申出テシムヘシ

森林組合設立ノ際第三十六條第二項ノ規定ニ依リ加入義務ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ期間内ニ地方長官ニ申請スヘシ

第三十五條 森林組合設立ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及前條第一項ノ規定ニ依ル意見書其ノ他森林法第六十六條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第三十六條 御料林又ハ國有林ニ付テハ帝室林野管理局又ハ政府ハ獨立シテ經營スルヲ不便ナリトスル場合ヲ除ク外森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

前項以外ノ森林ニシテ試驗、演習等特種ノ目的ニ供セラレ若ハ面積廣大ニシテ獨立經營ノ方法確定シ其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テ地方長官之ヲ協同經營ニ屬セシムルノ必

要ナシト認メタルモノニ付テハ其ノ森林所有者ハ森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

第三十七條 森林法第九條、第十條、第二十七條又ハ第七十七條ノ規定ニ依リ處分ヲ受ケタル森林カ森林組合ノ經營ニ屬シタル場合ニ於テ其ノ處分ノ變更又ハ解除ヲ要スルモノアルトキハ森林組合ハ其ノ處分ヲ爲シタル官廳ニ對シ其ノ變更、解除ヲ申請スルコトヲ得

第三十八條 森林組合ニ於テ森林ノ施業案若ハ施業要領、造林計劃、林道若ハ河川ニ關スル工事、其ノ他事業ノ計劃設計ヲ定メムトスルキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項認可申請書ニハ其ノ費用及其ノ收支ニ關スル豫定ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第三十九條 森林組合ニ於テ總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款中ニ總代ノ選任解任ノ方法、員數及任期ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

第四十條 森林組合合併ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、合併契約書及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

森林組合解散ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書及總會ノ決議録ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第四十一條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ森林組合ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

一 定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規定ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ

二 理事、監事ノ選任若ハ解任アリタルトキ又ハ其ノ缺ケタルトキ

三 森林組合令第十六條第一號第二號又ハ第五號ノ事項ヲ定メタルトキ

四 森林組合令第二十三條第二項ノ書類ニ付總會ノ調査ヲ經タルトキ

第四十二條 森林組合ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

第四十三條 森林法第七十八條ノ規定ニ依リ火入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ御料林又ハ之

ニ接近セル土地ニ係ルモノニ付テハ皇室林野管理局森林官吏、國有林又ハ之ニ接近セル

土地ニ係ルモノニ付テハ林區署森林官吏其ノ他ノ森林又ハ之ニ接近セル土地ニ係ルモノ

ニ付テハ警察官吏ニ申請スヘシ

火入ヲ爲サムトスル森林又ハ土地カ他人ノ所有若ハ占有ニ屬スルトキハ所有者又ハ占有

者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ但シ御料林又ハ國有林内ノ火入ニ付テハ此

ノ限ニ在ラス

第四十四條 前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ第九號様式ニ準シテ許可證ヲ作り之ヲ申請人

ニ交付スヘシ

前項ノ許可證ハ火入者ニ於テ火入ノ際之ヲ携帯スヘシ

第四十五條 火入ニ付延燒其ノ他危害ノ虞アルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ハ何時ニテモ

火入ノ差止又ハ火入ノ方法若ハ期日ノ變更其ノ他相當ノ處置ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 森林又ハ之ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲シタル者ハ火氣消滅シタル後ニ非サレ

ハ其ノ場所ヲ去立ルコトヲ得ス

第四十七條 第十條ノ規定ハ森林法第七條ノ規定ニ依リ造林ヲ命シタルモノニ之ヲ準用

ス

第四十八條 第四十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者又ハ許可ヲ得タル期日ニ違ヒテ

火入ヲ爲シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス第四十六條ニ違反シタル者亦同シ

第四十九條 第四條、第十條、第二十三條第一項、第二十六條、第二十九條、第四十七條

及第五十條ノ規定ニ違反シテ届出ヲ怠リタル者又ハ第四十四條第二項ニ違反シタル者ハ

科料ニ處ス

附 則

第五十條 本則施行ノ際現ニ森林法第二條ノ規定ニ依リ保安林所有者タル者ハ本則施行

ノ日ヨリ三箇月以内ニ其ノ土地ニ關スル權利ヲ證スル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ届出

ツヘシ

第五十一條 地方長官前條ノ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ其ノ保安林カ舊森林法ノ規定ニ

基キ土地所有者ニ對シ施業法要領ヲ通達シタルモノナルトキハ遲滞ナク更ニ森林所有者

ニ對シ之ヲ通達スヘシ其ノ届出前前條ノ保安林所有者アルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第五十二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ本則施行ノ際現ニ存在スル公有林又ハ社寺有林

ニ付第十號様式ニ準シテ届書ヲ作り本則施行後遲滞ナク之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第五十三條 本則施行前第三條若ハ前條ノ届出ニ相當スル届出ヲ爲シ又ハ第二條ノ認可ニ

相當スル認可ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ届出又ハ認可ハ本則ニ依リタルモノトスト

看做ス

第五十四條 本則ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

公有林(社寺有林)取得(喪失)(廢止)届

二四二

計	所 在			地目	森林面積 町	所有者	備 考
	町村	大字	字				

右取得(賣渡又ハ地上権消滅)(田畑ニ開墾)(何々)候ニ付此段及御届候也

年 月 日

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)

何 某

(氏子、檀徒又ハ信徒總代)

何 某

地方長官宛

第二號樣式

公有林(社寺有林)成立届

注意

- 一 公共團體又ハ社寺カ森林法第二條ニ依ル森林ノ所有者ト爲リタル場合ニ於テハ備考欄ニ其ノ權利ノ種類及期間ヲ記載スヘキモノトス以下第二號及第十號樣式亦同シ
- 一 森林法第二條ニ依ル森林所有者ノ權利消滅シタル爲公共團體又ハ社寺カ森林所有者タルニ至レルトキハ取得届ヲ爲スヘキモノトス
- 一 地番ノ全部カ森林ニアラサルトキハ何番ノ内ト記載スヘシ第二號、第四號、第五號、第十號樣式亦同シ
- 一 面積欄ニハ實測又ハ見込面積ヲ記載シ其ノ段別ノ上ニ實測又ハ見込ノ文字ヲ附記スヘシ第二號、第三號、第四號、第五號、第六號、第十四號樣式亦同シ

計	所 在			地目	森林面積 町	所有者	備 考
	町村	大字	字				

右ハ今般森林ト相成候ニ付此段及御届候也

附 錄

二四三

年 月 日

二四四

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)
 (何々森林組合理事)
 何 某
 (氏子、檀徒又ハ信徒總代)
 何 某

地方長官宛

第三號様式

管理區分書

計	町村大字字地番	所在地目	面積	所有者	事由

備考
 右御認可相成度此段申請候也

年 月 日

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)
 (氏子、檀徒又ハ信徒總代)
 何 某

地方長官宛

注意

一 總テノ箇所チ森林トシテ管理シ森林以外ニ供スル箇所ナキ場合ニ於テハ「森林トシテ管理セサルモノ」ノ欄チ
 空欄トシ斜線ヲ劃スルモノトス
 一事由欄ニハ森林トシテ管理セサル箇所ニ付其ノ事由ヲ詳記スルモノトス

第四號様式

管理方法届

所在地	所有者	面積	現況	管理方法
町村大字字地番「ノ」内			雑木林(杉、松ヲ主トセル混清林ニシテ大凡三十年生乃至五十年生ノ杉二分十五年生乃至三十年生ノ松七分其ノ他ノ樹木一分) 地方ノ慣行ニ依リ三十年前後チ以テ皆伐ス(大凡十五六年間ニ輪伐チ爲ス)	天然生ヲ養育ス(杉チ植栽ス)

附 録

二四五

備考

右及御届候也

年月日

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)(何々森林組合理事)
(氏子、檀徒又ハ信徒總代) 何 某

第五號様式

地方長官宛

管理方法届

備考	所在及地目	町村、大字、字、地番「」内
	所有者	
面積	現況	荒蕪地(草生地)
管理方法	植栽方法	人工植栽(天然生ヲ補充ス)
主ナル樹種	植栽ノ時期及期間	柗(杉)(扁柏) 明治何年ヨリ同何年ニ至ル何箇年間

年月日

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)(何々森林組合理事)
(氏子、檀徒又ハ信徒總代) 何 某

第六號様式

保安林編入(解除)申請書

地方長官宛

國郡町村大字字地番地目	山林	原野	五	六町	〇〇〇〇〇〇	六町	〇〇〇〇〇〇	六町	〇〇〇〇〇〇	國郡町(村)大字	何町(村)長

以上編入ノ例

國郡町村大字字地番地目	山林	原野	九	七	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	國郡町(村)大字何町(村)長	何町(村)長

附録

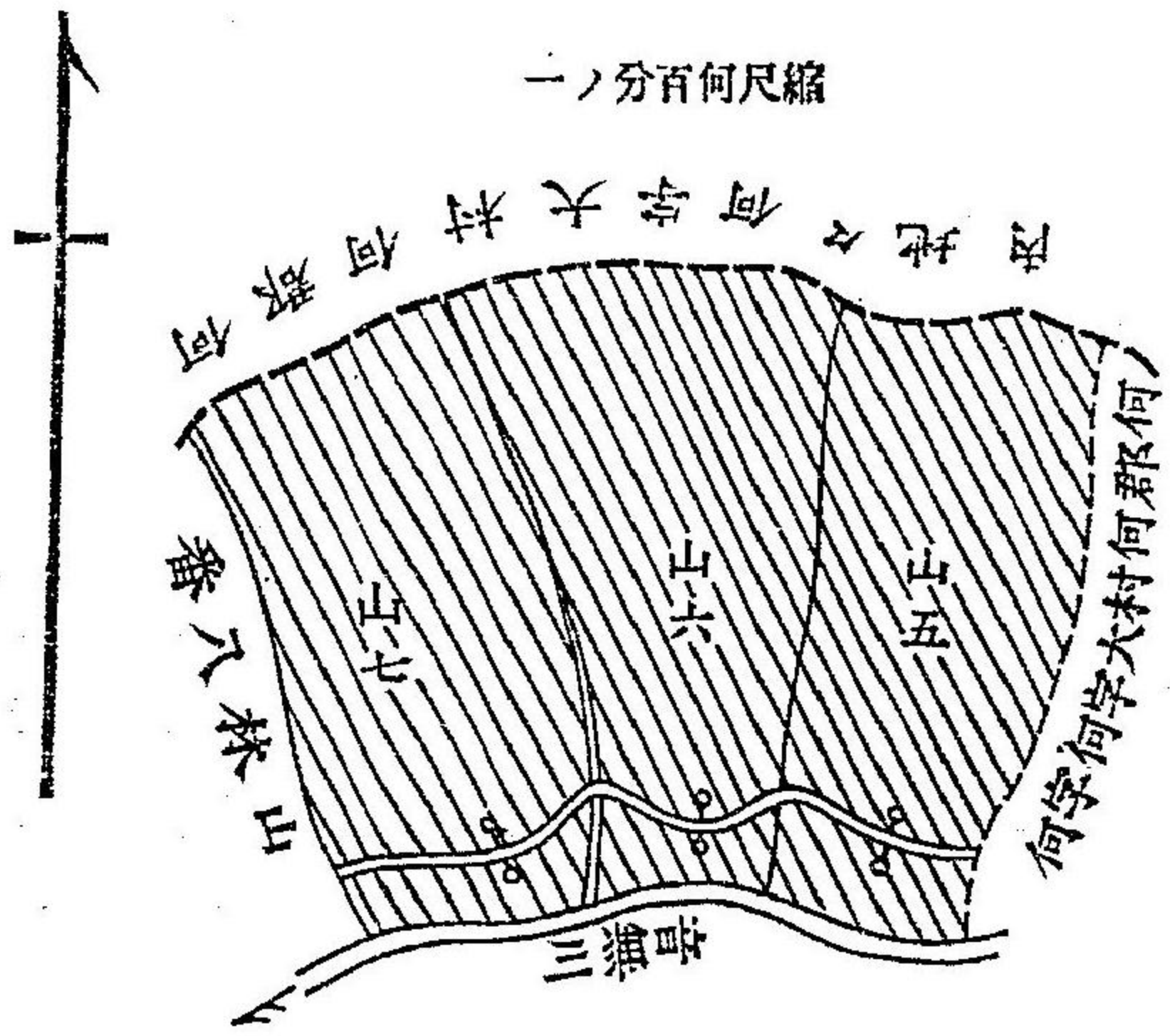
以上解除ノ例
右ハ何々(保安林編入又ハ解除ヲ要スル事由ヲ詳記スヘシ)ニ付保安林編入(解除)相成度(別紙圖面及何々添附)此段申請候也

年 月 日
農商務大臣宛
住所 申請者 氏名(何々森林組合理事氏名)

第七號様式

保安林編入圖

何國何郡何町(村)大字何字何番
何又ハ乃至何番

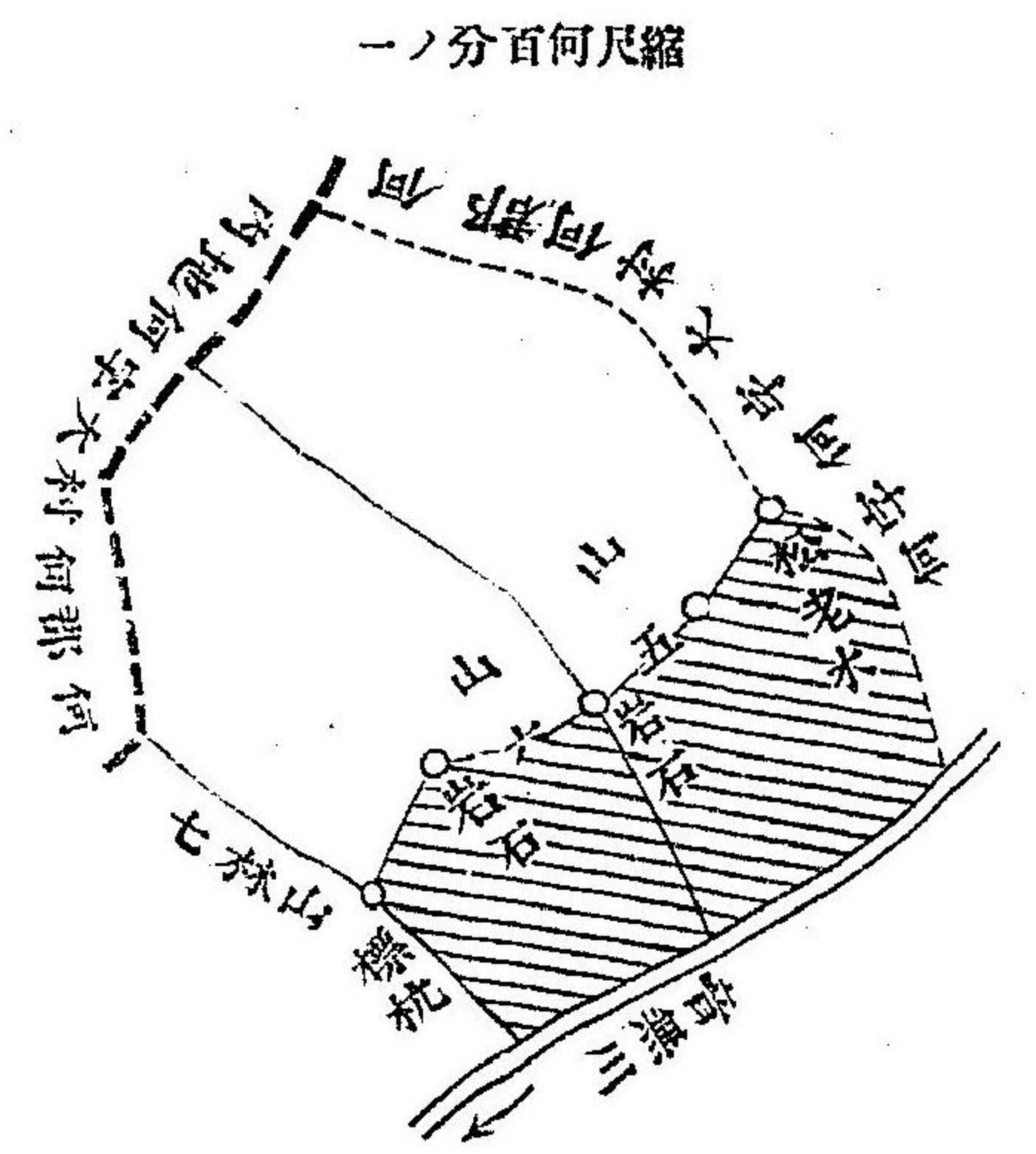


注意
地番ノ一部ニ係ルトキハ編入スヘキ區域ノ境界ヲ判明ナラシムヘシ

第八號様式

保安林解除圖

何國何郡何村大字何字何番
何又ハ乃至何番



注意
解除スヘキ區域ノ境界ヲ判明ナラシムヘシ

第九號様式

附錄

表

森林火入許可證		
年月日	火入箇所	火入期日
		火入者
	取扱官吏	

裏

火入者ハ火入ノ際此ノ證書ヲ携帯スヘシ
 一火入者ハ豫メ火入期日ヲ火入箇所ニ接近セル森林ノ所有者若ハ管理者ニ通知スヘシ
 一他ノ延焼ノ虞アル箇所ハ相當ノ防火設備ヲ爲スヘシ
 一火入ニ關シ森林官吏又ハ警察官吏ノ指揮アリタルトキハ其ノ指揮ニ従フヘシ

第十號様式

公有林(社寺有林)現在届

所	町村大字字	地番	地目	森林面積	所有者	備考
						何某所有地ニ明治何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄何十箇年間ノ地上權ヲ得タルモノナリ

右ハ森林法施行規則第五十二條ニ依リ此段及御届候也

年 月 日

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)

(氏子、檀徒又ハ信徒總代)

何 某

何 某

地方長官宛

◎御料地又ハ國有地ノ上ニ存在スル部分林ニ對シ森林法

適用ノ件 農商省令第二十二號 明治四十年十二月二十六日

御料地又ハ國有地ノ上ニ存在スル部分林ニ對シ森林法適用ノ件左ノ通定ム
 御料地又ハ國有地ノ上ニ存在スル部分林ハ森林法第二十八條ニ依ル損害補償請求ノ場合ニ於テ造林者ノ有スル分收權ノ部分ニ限リ私有林ニ關スル規定ヲ適用スルノ外其ノ地籍御料ニ屬スルトキハ御料林ニ關スル規定ヲ適用シ其ノ地籍國ニ屬スルトキハ國有林ニ關スル規定ヲ適用ス

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎森林法施行手續

農商務省訓令第三十號
明治四十年十二月二十六日

二五二

森林法施行手續左ノ通定ム

森林法施行手續

- 第一條 森林法第十條第一項ノ規定ニ依リ施業方法ヲ指定セムトスルトキハ第一號様式及第二號様式ニ準シ施業方法及圖面ヲ作成シ其ノ處分書ニ之ヲ添附スヘシ
- 第二條 地方長官森林法施行規則第六條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ森林所有者ニ通知スヘシ
- 第三條 地方長官ハ保安林ノ編入解除及森林法第三十二條ノ處分ニ關スル調査ヲ行フヘシ前項ノ調査ハ利害關係顯著ナルモノヨリ逐次之ニ著手スヘシ但シ保安林ノ編入解除ニ付申請アリタルトキ又ハ官廳ノ通知アリタルトキハ速ニ其ノ箇所ノ調査ヲ行フヘシ
- 第四條 保安林編入ニ關スル調査ハ其ノ編入ノ目的ニ依リ左ノ十二種ニ區分シテ之ヲ行フヘシ
- 一 土砂打止林
 - 二 飛砂防止林
 - 三 水害防備林
 - 四 防風林
 - 五 潮害防備林

府 縣

- 六 類雪防止林
- 七 墜石防止林
- 八 水源涵養林
- 九 魚附林
- 十 目標林
- 十一 衛生林
- 十二 風致林

前項ノ場合ニ於テ編入ノ目的二種以上ニ涉ルモノアルトキハ其ノ主ナル目的ニ依リ前項ノ區分ヲ爲スヘシ

第五條 保安林編入解除ニ關スル調査ニ付テハ左ノ書類ヲ作成スヘシ

一 保安林編入調査書 第三號様式及第四號様式

二 保安林調査地圖 第五號様式

三 保安林解除調査書 第六號様式

四 保安林解除地圖 (全部解除ノ場合ヲ除ク) 第七號様式

前項ノ外必要ニ應ジ編入解除ノ區域其ノ附近ノ地形並地物配置ノ状態ヲ明ニシタル概況圖ヲ作成スヘシ

第六條 保安林編入解除ノ關係ニ府縣以上ニ跨ル場合ニ在リテハ關係地方長官協議ノ上保安林調査ヲ爲スヘシ

第七條 地方長官ニ於テ保安林ノ解除ヲ必要ト認メ又ハ保安林解除ノ申請若ハ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ二府縣以上ノ利害ニ關係アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ關係地方長官ニ通知シ

- 第八條 森林法第二十一條ノ規定ニ依ル意見書ハ之ヲ地方森林會ニ送附スヘシ
- 第九條 森林法第十八條ノ通知及告示ヲ爲シタル日、地方森林會ノ開會及閉會ヲ爲シタル日ハ之ヲ森林法第二十二條ノ規定ニ依リ差出スヘキ關係書類ニ於テ明瞭ナラシムヘシ
- 第十條 保安林ノ伐採ハ擇伐法ニ依ルヘシ但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害セサル程度ニ於テ林種ノ改良其ノ他必要ナル目的ノ爲メ伐採ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十一條 保安林ハ一箇所(編入調書ノ一筆)毎ニ施業ヲ爲サシムヘシ但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害セスト認ムルトキハ二箇所以上ヲ併合シテ一施業ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十二條 保安林一箇年間ノ伐採面積ハ輪伐齡ヲ以テ立木地全面積ヲ除シタル商以內トシ隔年作業ニ在リテハ其ノ商ニ隔年ノ年數ヲ乘シタル積ヨリ大ナラシムルヲ得ス但シ伐採區域ハ擇伐ニ在リテハ伐採面積三倍以上ナルヲ要ス
- 保育ノ爲メ爲ス木竹ノ伐採又ハ枯木竹、損木竹、危險木竹、若ハ支障木竹ノ伐採ハ木竹伐採ノ禁止又ハ施業方法ノ指定ニ拘ラス之ヲ行ハシムルコトヲ得但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害スル虞アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十三條 散生地、無立木地又ハ荒地タル保安林ハ可成速ニ造林セシムヘシ
- 第十四條 農商務大臣ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ地方長官ニ之ヲ通知スヘシ
- 第十五條 森林法施行規則第十二條ニ依リ認可ノ申請書ニハ損害算定書ヲ添附シ同規則第十八條ニ依リ認可申請書ニハ森林法第二十八條第三項但書ノ規定ニ依リ負擔ノ要否及其ノ金額ニ付意見ヲ具スヘシ

第十六條 地方長官ハ保安林ニ付開墾許可ノ申請アリタル場合ニ於テ其ノ開墾ノ爲森林タルヲ失ハサルモノ、外之ヲ許可スルヲ得ス

第十七條 森林法第三十二條ノ規定ニ依リ處分ニ關スル調査ニ付テハ左ノ書類ヲ作成スヘシ

- 一 開墾制限(禁止)調書 第八號様式及第九號様式
- 二 開墾制限禁止(地圖) 第十號様式
- 三 開墾制限(禁止)解除調書 第十一號様式及第十二號様式
- 四 開墾制限(禁止)解除地圖(全部解除ノ場合ヲ除ク) 第十三號様式及第十四號様式
- 第十八條 第六條及第七條ノ規定ハ森林法第三十二條ノ規定ニ依リ處分ニ之ヲ準用ス
- 第十九條 森林法施行規則第十九條ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ之ヲ利害關係者ニ知ラシムル爲便宜ノ方法ヲ執ルヘシ
- 第二十條 森林法第四十條、第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘ又ハ協議ニ應セムトスル場合ニ於テ官廳ノ管理ニ屬スル物件又ハ現ニ公用ニ供スル物件ニ係ルモノアルトキハ豫メ其ノ物件ヲ管理スル官廳又ハ管理者ニ協議ヲ爲スヘシ
- 第二十一條 森林法第七十二條ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ組合ノ解散ヲ命セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第二十二條 森林法第七十六條ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リ警察官署ニ於テ森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ノ届出ヲ受理シタルトキハ之ヲ所轄區域內又ハ其ノ附近ニ在ル小林區署又ハ帝室林野管理局支廳出張所ニ通知セシムヘシ其ノ届出ニ係ル記號、印章ノ變更又ハ其ノ使用廢止ノ届出ヲ受理シタルトキ亦同シ

第二十三條 森林法第八十一條第一項ノ規定ニ依リ蟲類以外ノ動物又ハ微菌ノ驅除豫防ニ關シ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 動物又ハ微菌ノ名稱、其ノ方言
- 二 主ナル被害産物ノ種類並被害ノ狀況
- 三 驅除豫防ノ方法

第二十四條 森林害蟲等ノ蔓延鄰接府縣ニ及ムトスルノ虞アルトキハ其ノ旨ヲ關係府縣ニ急報スヘシ

第二十五條 二府縣以上ニ涉リ害蟲等蔓延シタルトキハ關係地方長官協定シテ驅除豫防ヲ行フヘシ

第二十六條

森林法第七條ノ規定ニ依リ造林ヲ命セムトスルトキハ第十五號様式及第十

六號様式ニ準シ造林方法書及圖面ヲ作成シ其ノ處分書ニ添附スヘシ

第二十七條

森林法第七條ノ規定ニ依リ命スル造林ノ完了年限ハ可成速成ノ見込ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十八條 森林法第八條ニ該當スル保安林ハ明治四十三年度末迄ニ之ヲ調査スヘシ

第二十九條

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ

- 一 森林法第二十七條ノ規定ニ依リ制限、禁止若ハ指定ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキ
- 二 同法第三十二條ノ規定ニ依リ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキ

此ノ場合ニ於テハ第八號様式及第九號様式ニ準シテ作成シタル調査及第十號様式

ニ準シテ作成シタル圖面ヲ添附スヘシ

第三十條 地方長官ニ於テ森林法第十一條第一項、第三十四條又ハ第七條第二項ノ規定

ニ依リ造林ヲ行ハムトスルトキハ其ノ理由及左ニ掲クル事項ヲ具シタル認可申請書ニ第十七號様式ニ準シテ作成シタル造林事業豫算書ヲ添附シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

- 一 造林費ノ徴收ニ關スル事項
- 二 義務者ノ資力ニ關スル事項

第三十一條

左ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ具シ農商務大臣ニ報告スヘシ

- 一 森林法第九條第一項ノ規定ニ依リ府縣令ヲ發シタルトキ
- 二 森林法施行規則第六條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタルトキ
- 三 森林法第六十條ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ
- 四 同法第七十一條第二項ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ
- 五 同法第七十六條ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ

第三十二條 左ノ場合ニ於テハ農商務大臣ニ報告スヘシ

- 一 森林法第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ變更ヲ命シタルトキ
- 二 同法第十條第一項ノ規定ニ依リ施業ノ方法ヲ指定シタルトキ
- 三 同法第十條第二項、第三十三條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ命令ヲ爲シタルトキ

此ノ場合ニ於テ施業案ニ關スルトキハ其ノ施業案ヲ添附スヘシ

此ノ場合ニ於テハ指定ヲ要スル理由ヲ具シ施業方法書ヲ添附スヘシ

同法第十條第二項、第三十三條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ命令ヲ爲シタルトキ

- 此ノ場合ニ於テハ森林法第七七條ノ規定ニ依ル造林命令ニ關スルトキハ造林方法書ヲ添附スヘシ
- 四 同法第十一條第一項、第三十四條又ハ第七七條第二項ノ規定ニ依リ執行シタル造林ヲ終了セルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ造林費ノ徵收ニ關スル事項ヲ具シ第十八號様式ニ準シテ作成シタル造林事業實行書ヲ添附スヘシ
- 五 第二號又ハ第三號ノ指定又ハ命令ヲ變更解除シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ
- 六 森林法第二十五條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ
- 七 同法第四十條、第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ使用變更又ハ除却ノ認可ヲ與ヘ又ハ協議ニ應シタルトキ
 - 此ノ場合ニ得テハ使用、變更又ハ除却スヘキ物件、期間、時期、目的、方法等ニ關スル重要ナル事項ヲ具シ且必要ニ應シ事業計劃書又ハ圖面ヲ添附スヘシ
- 八 同法第五十五條、第五十七條又ハ第五十八條第三項ノ規定ニ依リ地方森林會ニ於テ裁決ヲ爲シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ裁決書ノ謄本ヲ添附スヘシ
- 九 森林組合ノ設立ヲ許可シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ組合員ノ數、組合員ノ所有スル森林面積等ヲ具シ且定款ノ寫ヲ添附スヘシ

- 十 同法第六十八條第三項ノ規定ニ依リ定款變更ノ認可ヲ與ヘタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ變更ニ係ル事項中著シキモノニ關スル理由ヲ具スヘシ
- 十一 森林法施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ事業ノ計劃又ハ設計ヲ認可シタルトキ但シ輕微ナルモノヲ除ク
 - 此ノ場合ニ於テハ計劃又ハ設計ノ大要ヲ具シ又ハ必要ニ應シ計劃書若ハ設計書ヲ添附スヘシ
- 十二 森林法施行規則第四十一條第一號若ハ第四號ノ報告又ハ同條第三號中森林組合令第十六條第二號ノ事項ノ報告ヲ受ケタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ報告書寫ヲ添附スヘシ
- 十三 森林組合ノ合併ヲ認可シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ合併ヲ要スル理由ヲ具シ且合併契約書寫ヲ添附スヘシ
- 十四 森林法第七十二條第一號又ハ第二號ノ處分ヲ爲シタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ
- 十五 森林組合ノ解散ノ届出ヲ受ケタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ解散ノ事由ヲ具スヘシ
- 十六 森林害蟲等蔓延シ若ハ蔓延ノ虞アルトキ又ハ森林法第八十一條第一項ノ規定ニ依リ森林害蟲等ノ驅除豫防ヲ命シ若ハ自ラ之ヲ行ヒタルトキ
 - 此ノ場合ニ於テハ害蟲ノ名稱、方言、主ナル被害產物ノ種類、被害ノ狀況、驅除豫防ノ方法ニ關スル事項ヲ具スヘシ

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
審一號様式

指定スヘキ施業ノ方法	施業方法ノ指定ヲ必要トスル事由				面積		所有者(森林組合) 國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	所在地 國郡(市)町(村)大字地番(ノ内)(外何筆)地目
	地的目定指業施				實測又ハ見込	墾		
	林	地	區	面				
七	別紙圖面ノ通(何々川ノ東方悉皆ノ地)	別紙圖面ノ通(何々川ノ東方悉皆ノ地)	別紙圖面ノ通(何々川ノ東方悉皆ノ地)	別紙圖面ノ通(何々川ノ東方悉皆ノ地)	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
六	本林地ハ何々川ノ東方ニ連亘スル一帯ノ地ニシテ山腹ノ傾斜二十度乃至三十度ノ間ニ在リ其ノ地質ハ岩片石礫ヲ混シタル土壤ニシテ其ノ基岩ハ片麻岩ヨリ成立ス地味真好ニシテ林木成長ニ適ス	本林地ハ何々川ノ東方ニ連亘スル一帯ノ地ニシテ山腹ノ傾斜二十度乃至三十度ノ間ニ在リ其ノ地質ハ岩片石礫ヲ混シタル土壤ニシテ其ノ基岩ハ片麻岩ヨリ成立ス地味真好ニシテ林木成長ニ適ス	本林地ハ何々川ノ東方ニ連亘スル一帯ノ地ニシテ山腹ノ傾斜二十度乃至三十度ノ間ニ在リ其ノ地質ハ岩片石礫ヲ混シタル土壤ニシテ其ノ基岩ハ片麻岩ヨリ成立ス地味真好ニシテ林木成長ニ適ス	本林地ハ何々川ノ東方ニ連亘スル一帯ノ地ニシテ山腹ノ傾斜二十度乃至三十度ノ間ニ在リ其ノ地質ハ岩片石礫ヲ混シタル土壤ニシテ其ノ基岩ハ片麻岩ヨリ成立ス地味真好ニシテ林木成長ニ適ス	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
五	林木種ハ「ナラ」「ク」其ノ他落葉樹ニシテ「ナラ」大部分ヲ占ム其ノ樹齡ハ大槪何年生ヨリ何年生ノモノ多ク處々「ナラ」シテ散生ス其ノ林相ハ未ダ甚シキ荒廢ヲ來サスト雖其ノ一部ハ既ニ荒廢シテ地表ヲ曝露シ山腹ノ處々崩潰セリ	林木種ハ「ナラ」「ク」其ノ他落葉樹ニシテ「ナラ」大部分ヲ占ム其ノ樹齡ハ大槪何年生ヨリ何年生ノモノ多ク處々「ナラ」シテ散生ス其ノ林相ハ未ダ甚シキ荒廢ヲ來サスト雖其ノ一部ハ既ニ荒廢シテ地表ヲ曝露シ山腹ノ處々崩潰セリ	林木種ハ「ナラ」「ク」其ノ他落葉樹ニシテ「ナラ」大部分ヲ占ム其ノ樹齡ハ大槪何年生ヨリ何年生ノモノ多ク處々「ナラ」シテ散生ス其ノ林相ハ未ダ甚シキ荒廢ヲ來サスト雖其ノ一部ハ既ニ荒廢シテ地表ヲ曝露シ山腹ノ處々崩潰セリ	林木種ハ「ナラ」「ク」其ノ他落葉樹ニシテ「ナラ」大部分ヲ占ム其ノ樹齡ハ大槪何年生ヨリ何年生ノモノ多ク處々「ナラ」シテ散生ス其ノ林相ハ未ダ甚シキ荒廢ヲ來サスト雖其ノ一部ハ既ニ荒廢シテ地表ヲ曝露シ山腹ノ處々崩潰セリ	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
四	本林地ハ林業上最モ有望ノ箇所ナルモ所有者ハ毫モ森林ノ保護林地ノ荒廢ヲ願フノ念ナク若リニ樹林ノ伐採ヲ爲シ管テ之カ施業上ニ付注意ヲ與ヘタルモ更ニ顧慮スルナク伐採ヲ續行シ林地ノ荒廢ヲシテ益々増加セシムルノ虞アルニ依リ別項記載ノ如キ方法ヲ指定スルノ必要アリ	本林地ハ林業上最モ有望ノ箇所ナルモ所有者ハ毫モ森林ノ保護林地ノ荒廢ヲ願フノ念ナク若リニ樹林ノ伐採ヲ爲シ管テ之カ施業上ニ付注意ヲ與ヘタルモ更ニ顧慮スルナク伐採ヲ續行シ林地ノ荒廢ヲシテ益々増加セシムルノ虞アルニ依リ別項記載ノ如キ方法ヲ指定スルノ必要アリ	本林地ハ林業上最モ有望ノ箇所ナルモ所有者ハ毫モ森林ノ保護林地ノ荒廢ヲ願フノ念ナク若リニ樹林ノ伐採ヲ爲シ管テ之カ施業上ニ付注意ヲ與ヘタルモ更ニ顧慮スルナク伐採ヲ續行シ林地ノ荒廢ヲシテ益々増加セシムルノ虞アルニ依リ別項記載ノ如キ方法ヲ指定スルノ必要アリ	本林地ハ林業上最モ有望ノ箇所ナルモ所有者ハ毫モ森林ノ保護林地ノ荒廢ヲ願フノ念ナク若リニ樹林ノ伐採ヲ爲シ管テ之カ施業上ニ付注意ヲ與ヘタルモ更ニ顧慮スルナク伐採ヲ續行シ林地ノ荒廢ヲシテ益々増加セシムルノ虞アルニ依リ別項記載ノ如キ方法ヲ指定スルノ必要アリ	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
三	本林地ハ將來「ク」ヲ以テ主トスル爲本ノ經營ヲ目的トスヘシ	本林地ハ將來「ク」ヲ以テ主トスル爲本ノ經營ヲ目的トスヘシ	本林地ハ將來「ク」ヲ以テ主トスル爲本ノ經營ヲ目的トスヘシ	本林地ハ將來「ク」ヲ以テ主トスル爲本ノ經營ヲ目的トスヘシ	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
二	本林地ハ伐採齡ハ三十年以上タルヘシ	本林地ハ伐採齡ハ三十年以上タルヘシ	本林地ハ伐採齡ハ三十年以上タルヘシ	本林地ハ伐採齡ハ三十年以上タルヘシ	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		
一	本林地ハ順序ハ別紙圖面ノ區或番號順ニ依ルヘシ	本林地ハ順序ハ別紙圖面ノ區或番號順ニ依ルヘシ	本林地ハ順序ハ別紙圖面ノ區或番號順ニ依ルヘシ	本林地ハ順序ハ別紙圖面ノ區或番號順ニ依ルヘシ	二百五十町步(ノ内)	二百五十町步		

注意

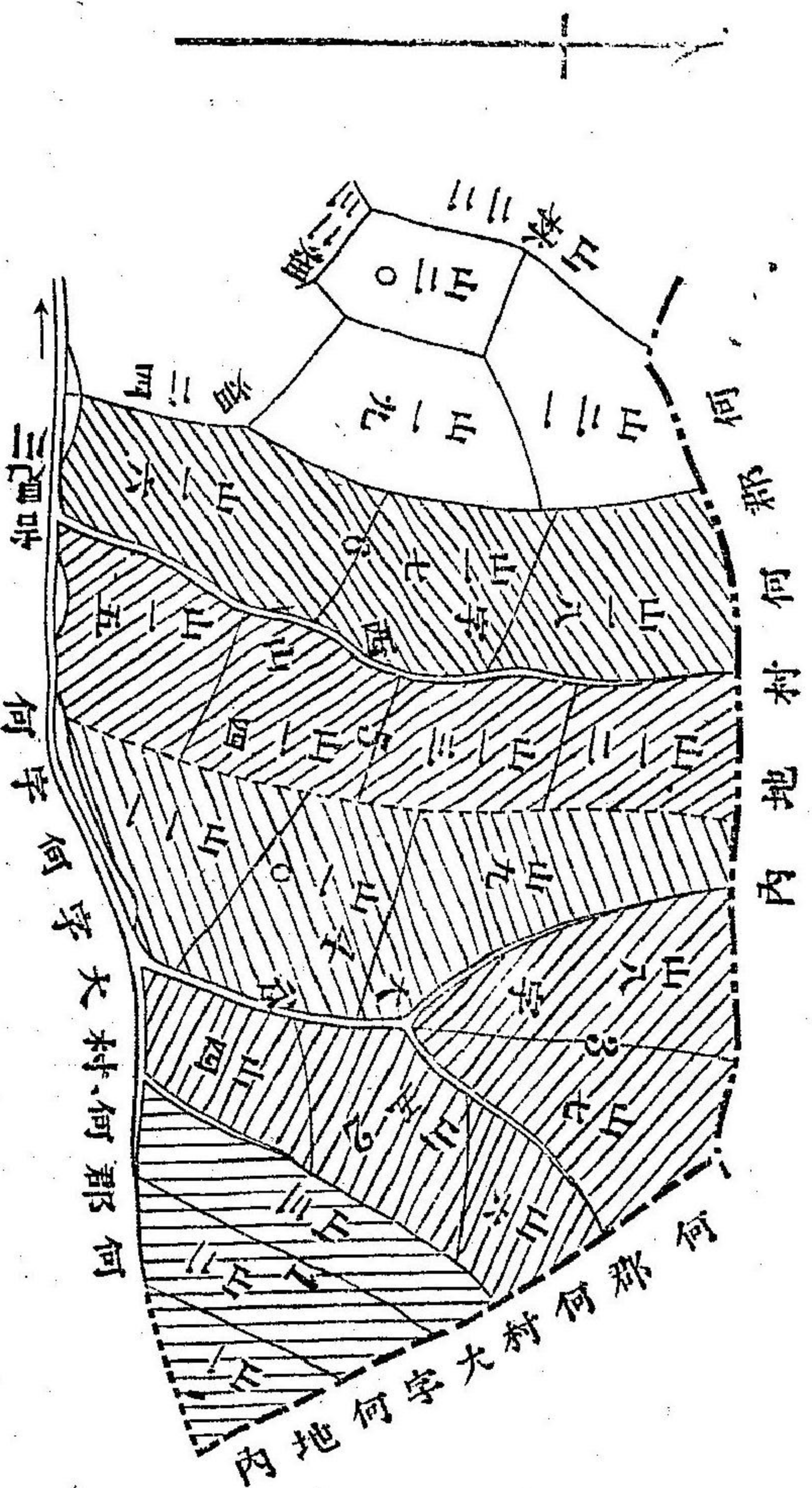
- 一 「所在地欄」二筆以上ニ涉ルトキハ外何筆トシ別ニ明細書ノ添附ヲ要ス
- 二 「所有者欄」共有ナルトキハ外何名トシ別ニ明細書ノ添附ヲ要ス共同シテ森林ノ經營ヲ行フ森林組合ナルトキハ括弧内ノ記載例ニ依ルヘシ
- 三 「地況欄」位置、傾斜度、方向、地質、乾湿度等土地ノ現在ニ於ケル狀況ヲ知ルニ足ルヘキ事項ヲ記載スヘシ
- 四 「林況欄」現ニ生立スル樹木ノ種類、樹齡、混生歩合、林相ノ疎密等森林ノ現在ニ於ケル狀況ヲ知ルニ足ルヘキ事項ヲ記載スヘシ
- 五 「調書ノ箇所(編入ノ目的同一ニシテ所有者)毎ニ之ヲ作成スヘシ但シ合併施業ノ場合ハ其ノ一施業地ヲ一箇所ト爲スコトヲ得
- 六 目的箇所ノ區域、面積其ノ他必要ナル區界並顯著ナル物件ノ位置等ハ可成精確ナル方法ニ依リ之ヲ調査スヘシ
- 七 面積欄ニハ指定スヘキ實測又ハ見込面積ヲ記載シ其ノ段間ノ上ニ實測又ハ見込ノ文字ヲ附記スヘシ第三號、第六號、第九號、第十二號、第十五號様式亦之ニ準ス

圖 區域指定指業施

第十何外番何何字何字大(村)町何郡何國何

一ノ分百何尺縮

第一號樣式



注意

- 一 峯、谷等天然の境界ノ顯著ナル箇所ハ其ノ境界線ニ沿フテ峯界、谷界等ノ文字ヲ附シ單ニ隣接町村大字及字名ヲ附記スヘシ町村、大字、字ヲ以テ境界トモナル箇所ハ其ノ町村、大字、字名ヲ附スルノ外地番、地目ヲ記入スヘシ
- 二 伐木其ノ他施業ノ順位又ハ區別ヲ定メタルトキハ亞刺比亞文字ニテ1、2、3ノ番號ヲ附スヘシ
- 三 本圖ノ作成ハ總テ農商務省編纂國有林野圖式ニ依ルヘシ
- 四 面積ノ大小ニ應ジ適宜縮尺ヲ定メ之ヲ圖中ニ記載スヘシ
- 五 用紙ハ可成美濃摺水引ヲ用フヘシ
- 六 本圖ハ箇所ニ作成シ可成目的、每箇所及其ノ附近ノ地形並地物ノ配置、境界、隣地ノ種類ヲ示スヘシ但シ目的區域カ數多ノ小面積箇所ヨリ成立セル場合ハ適當ノ區域ヲ限リ二箇所以上ヲ一團ト爲シ箇所毎ニ之ヲ區別スヘシ

第三號樣式

年月番		所在地	所有者	申請者	面積	編入面積	編入區域	保安林種類	使用收益ノ制限 若ハ禁止又ハ施	附錄
日號	年番									
		國郡(市)町(村)大字 地番 地目	國郡(市)町(村)大字 何某(何々森林組合地區内)	國郡(市)町(村) 何々町(村)長	臺帳 七十八町五段步 實測又 ハ見込 七十八町五段步	三十五町步	別紙圖面ノ通	水源涵養林	一 林木ハ何年生ニ達セザンハ伐採スルコトヲ得ス 二 伐採ハ擇伐法ニ依リ一箇年ノ伐採面積何町步以下タルヘシ	二六三

業又ハ保護ノ方
法ニ關スル指定
事項

三 土石ノ採掘ハ何々場所ヲ限リ落葉ノ採收ハ之ヲ爲スコトヲ得ス
四 現在無立木地ハ今後五箇年内ニ造林ヲ施行スヘシ
五 其他云々

一六四

考	備
---	---

注意

- 一 「所在地」欄 第一號様式注意事項二同シ
- 二 「所有者」欄 共有ナルトキハ外何名トシ別ニ明細書ノ添付ヲ要ス森林組合地區内ノ森林ナルトキハ其ノ旨附記スヘシ
- 三 「申請者」欄 一部分ハ申請、一部分ハ知事ノ認定ニ係ルトキハ其ノ旨附記スヘシ
- 四 「編入面積」欄 保安林ニ編入スヘキ土地ノ面積ヲ記入スヘシ若シ其ノ内ニ未立木地アルトキハ其ノ面積ノ下ニ(内何町歩ハ未立木地)ト記スヘシ
- 五 「使用收益ノ制限若ハ禁止又ハ施業及保護ノ方法」ニ關スル指定事項「雜産物採取ノ制限若ハ禁止又ハ樹木伐採ノ禁止ヲ要スヘキ事項及毎年ノ伐採面積、輪伐齡、伐採法其ノ他造林及工事等ノ施設方法」ニ付指定ヲ要スヘキ事項ヲ記載スヘシ
- 六 「年月日」欄 調査年月日ヲ記載スヘシ
- 七 「番號」欄 調査番號ヲ記載スヘシ
- 八 用紙ハ美濃紙ヲ用フヘシ

第四號様式

編入	
地	林
況	況
本林地ハ何々川ノ水源ヲ爲セル山嶽ノ一部ニシテ其ノ地勢東北方ニ向テ漸次低下ス山腹ノ傾斜一様ナラスト雖大嶽三十五度内外ニシテ間々四十五度ノ處アリ其ノ上層ハ岩片石稜ヲ混シタル脆弱ノ土性ニシテ其ノ下層ハ片麻岩ヨリ成リ土地稍適潤ヲ得タルモ朽土ニ乏シ	現在生立スル林木ノ種類ハ「ナラ」「クモリ」「イタヤ」「アサ」「ナラ」等ニシテ「ナラ」大部分ヲ占ム其ノ樹齡ハ十五年生乃至二十年生ノ多クシテ間々百餘年生ニ達スル「アサ」ノ老木約二百本ノ林木チ存スルノミ

事由	
従來ノ慣行及森 林取扱方	保安林編入並制 限事由
林木伐採上ニ付テハ一定ノ方法ヲ任意必要ニ照シ伐木ヲ爲スノミニシテ森林保護ニ付テハ更ニ何等願慮セサルノミナラス附近新炭材缺乏ノ結果トシテ存リニ伐採ヲ行ヒ將ニ數年ナラスシテ全林ヲ蕩盡セシメントス	本林地ハ何々川ノ水源ヲ爲セル山嶽ノ一部ニシテ其ノ河水ハ何々村ノ耕地何十町歩ノ灌漑上容易ナラサル影響ヲ有スル箇所ナルヲ以テ現時ノ如ク濫伐ヲ加フルニ於テハ將來益々河水ノ濁濁ヲ來シ農業上重大ナル障害ヲ惹起スヘキニ依リ保安林ニ編入シ之カ適當ナル制限ヲ爲スヘキ必要ヲ認ム

注意

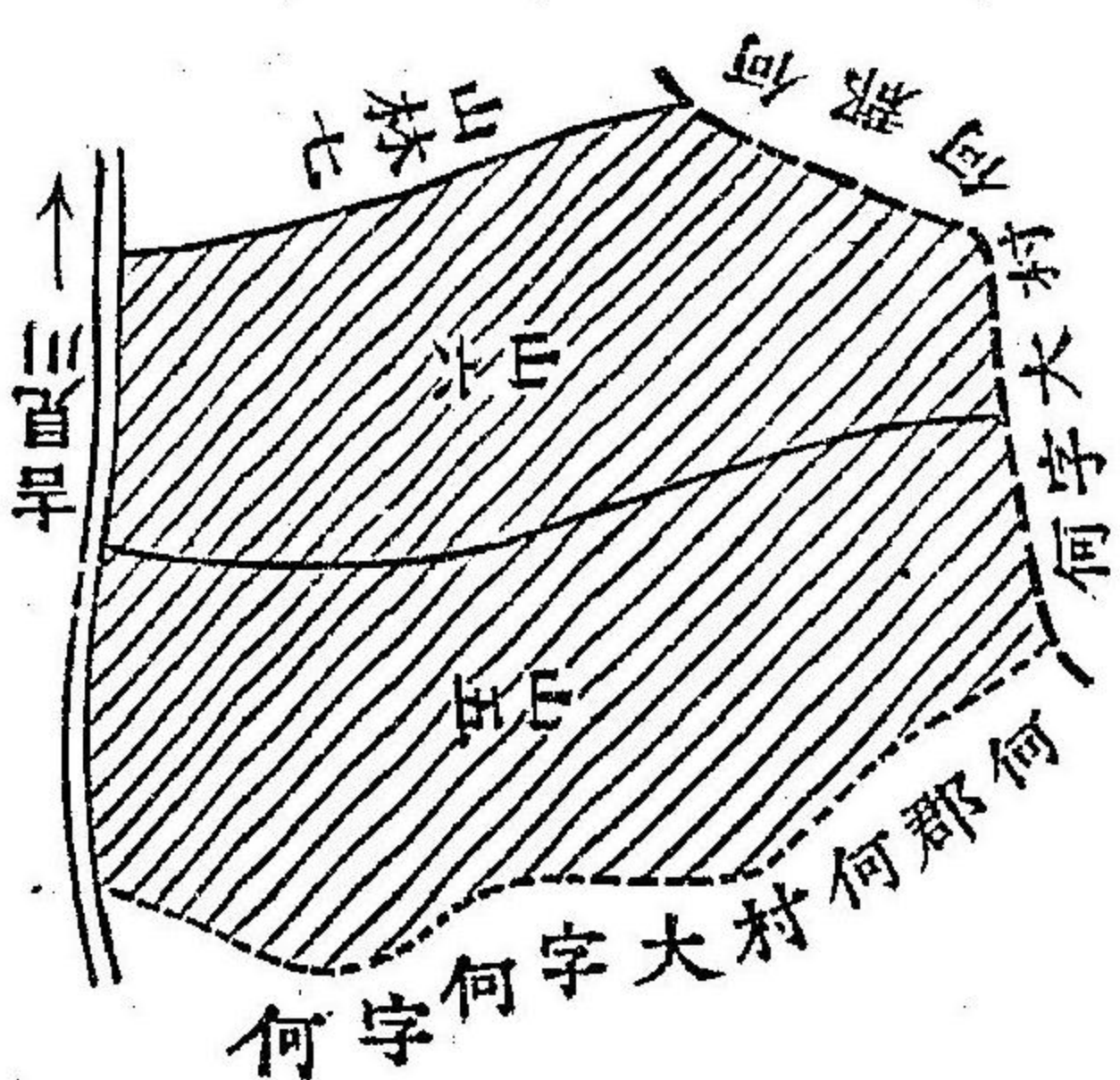
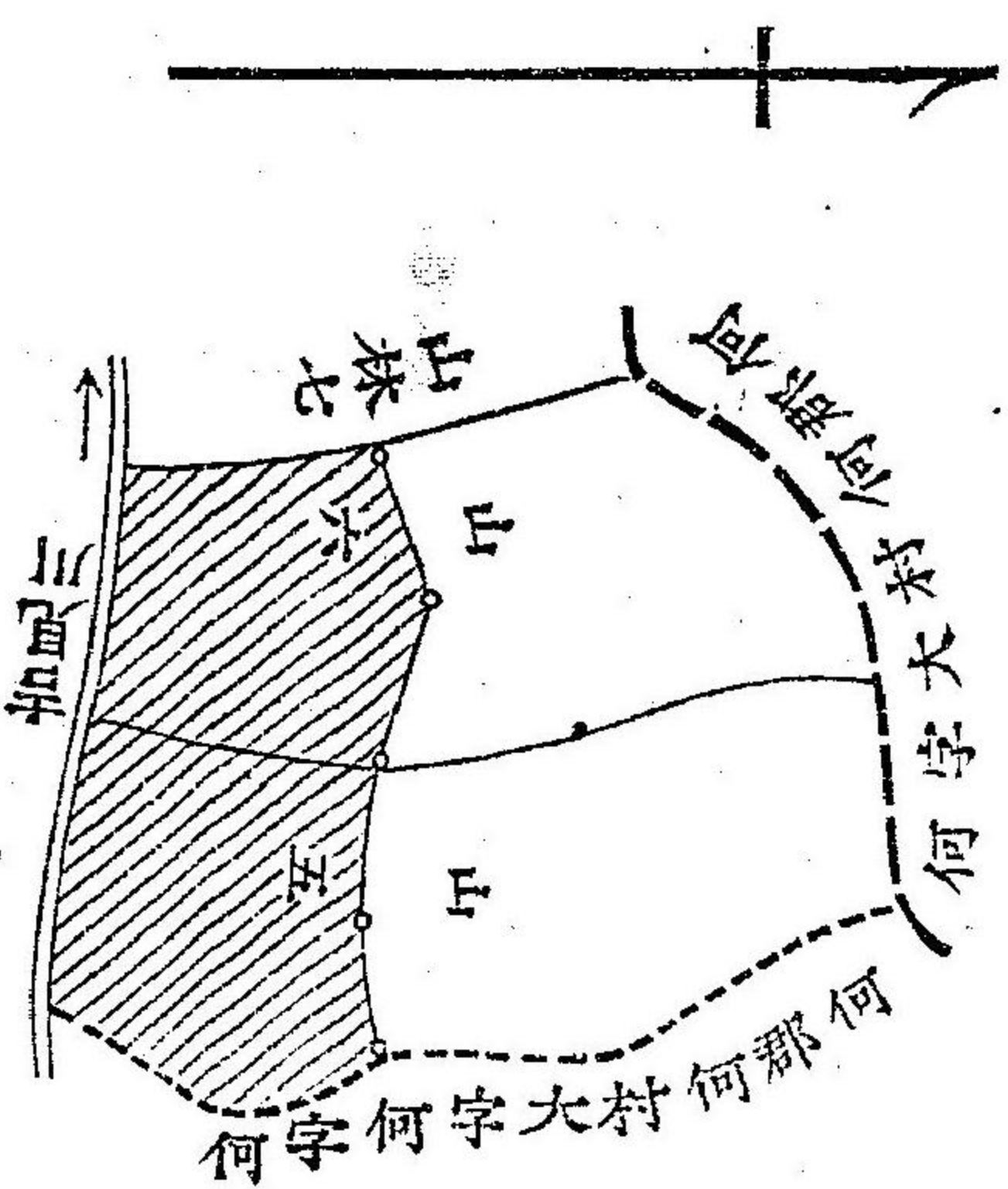
- 一 「地況」欄 第一號様式注意事項二同シ
- 二 「林況」欄 第一號様式注意事項二同シ
- 三 「従來ノ慣行及森林ノ取扱方」欄 従來ニ於ケル産物採取並伐期ノ慣行及森林ノ取扱方法ニ付記載スヘシ
- 四 「保安林編入並制限、禁止ヲ要スル事由」欄 保安林ニ編入ヲ要スル事由、樹木ノ伐採ヲ制限若ハ禁止スヘキ必要ノ理由ヲ簡明ニ記載スヘシ
- 五 調査ノ作成ニ付テハ第一號様式注意事項第五號二同シ
- 六 調査ニ付テハ第一號様式注意事項第六號二同シ
- 七 用紙ハ美濃紙ヲ用フヘシ
- 八 本調査ハ第三號様式ト合綴スヘシ

圖地查調林安保

林山第一外番何何字何字大(村)何何郡何何
一ノノ分百何尺縮

(合勝)入編部一)

(合勝)入編部全)



第五號樣式

注意

- 一 本圖ノ作成ニ付テハ第二號樣式注意事項(第二號第六)ニ同シ
- 二 本圖ハ箇所毎ニ作成シ目的箇所及其ノ附近ノ地形並地物ノ配置境界隣接地ノ種類ヲ示スヘシ但シ目的區域カ數多ノ小面積箇所ヨリ成立セル場合ハ適當ノ區域ニ限リ二箇所以上チ一圖ト爲シ箇所毎ニ之ヲ區別スヘシ

第六號樣式

保安林解除調書

所在地	國郡(市)町(村)大字字地番(ノ内)(外何十筆)	
所有者	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合地區内)	
保安林ノ種類	土砂拵止林	
保安林編入決定年月日及裏帳番號	明治年月日決定裏帳番號第 號	
面積	現保安林	二十三町歩
	要解除地	二十三町歩(全部解除ノ場合) 十町歩(一部解除ノ場合)
積殘地	十三町歩(一部解除ノ場合)	
區域	別紙圖面ノ通	
解除申請者	國郡(市)町(村)大字 何某	
要解除地ノ現況	解除スルモ公益上毫モ危害ナキモノト認ム (或ハ) 本林地ハ何々ヨリ何々ニ通スル道路ノ保護上最モ緊切ノ森林ニシテ一朝之カ解除ヲ爲シ普通作業ヲ爲サシムルニ於テハ到底土砂崩落ノ危險ヲ防止スルノ策ナク交通上頗ル危害アルモノト認ム 本林地ハ土砂拵止ノ積雪防止ノ爲保安林ニ編入セラレタルモノナルモ今回縣道改修ノ爲其ノ一部ヲ積地ト爲ササレハ工事ヲ施行スルコト能ハサルニ依リ之カ解除ヲ爲サム	

附錄

解除ヲ要スル理由

トスルニ由ル
(或ハ)
土砂停止ノ爲保安林ニ編入セラレタルモノナルモ其ノ地盤既ニ安定シテ普通作業法ニ依ラシムルモ毫モ危害ヲ來スノ虞ナキニ依リ之ヲ解除ヲ爲サムトスルニ由ル

注意

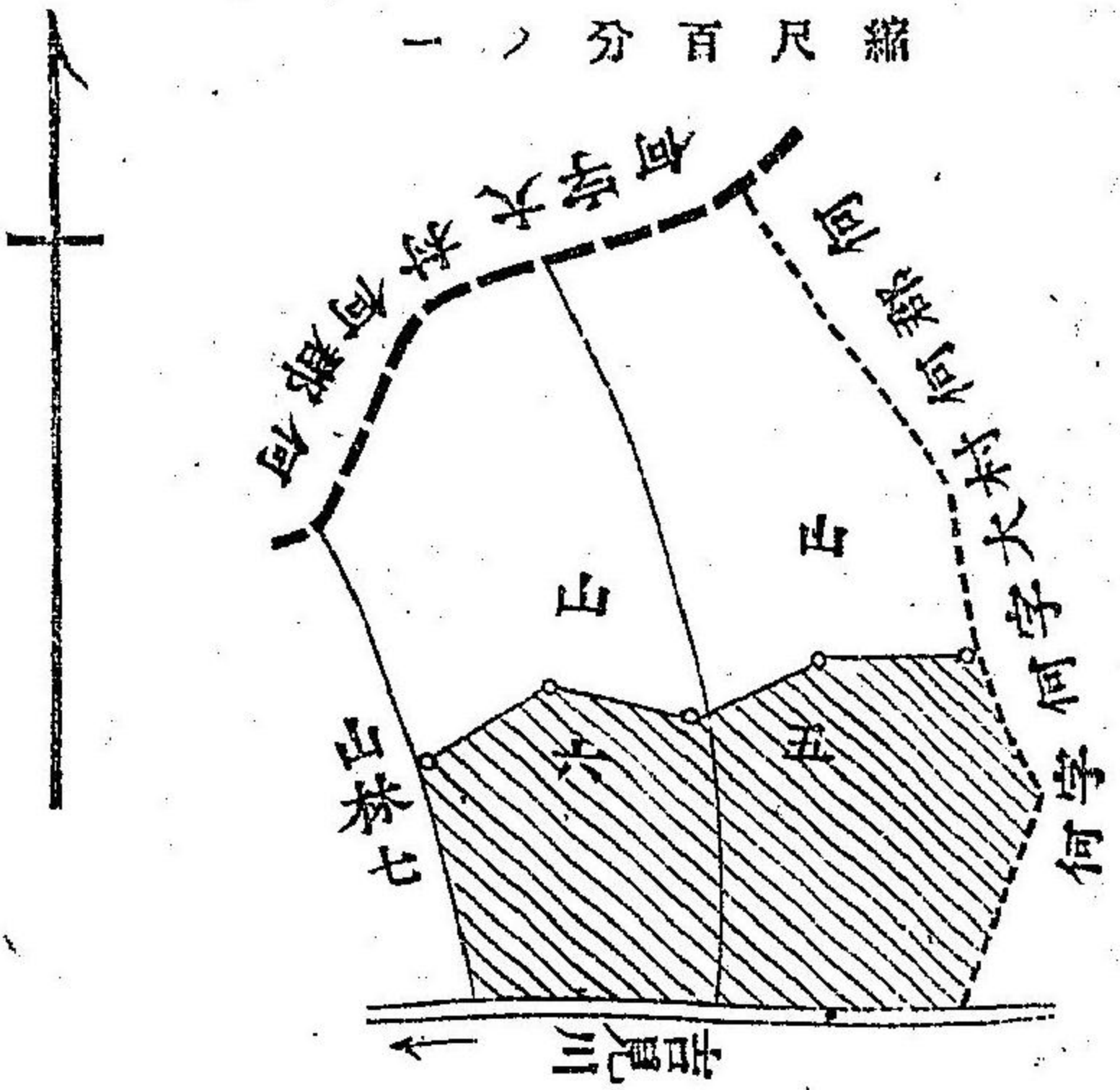
- 一 「所有者欄 第一號様式注意事項ニ同シ
- 二 「現保安林欄 現在保安林タリシ土地ノ全面積ヲ記載スヘシ
- 三 「要解除地欄 解除スヘキ土地ノ面積ヲ記載スヘシ
- 四 「殘地欄 現在保安林タリシ土地ノ面積ヨリ解除スヘキ土地ノ面積ヲ減シタル殘面積ヲ記載スヘシ
- 五 「區域欄 要解除地ノ區域ト殘地ノ區域トヲ記載スヘキモノナルモ別ニ圖面ノ添付ヲ要スルニ依リ別紙圖面ノ通り記スルモ差支ナシ
- 六 「解除申請欄 解除申請ヲ爲シタル場合ニ於テハ申請者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ
- 七 「要解除地ノ現況欄 保安林ノ解除ヲ爲スモ國土保安上ノ危害ヲ生スルノ虞ナキヤ否ヤ其ノ現況ヲ簡明ニ記載スヘシ
- 八 調書ノ作成ニ付テハ第一號様式注意事項第五號ニ同シ

第七號様式

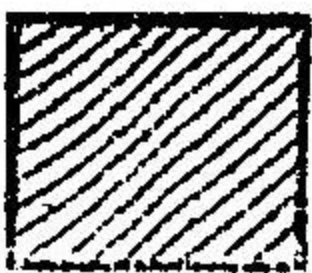
保安林解除地圖

何國何郡何町(村)大字何字何番一筆山林

縮尺百分寸



地除解要



注意

本圖ノ作成ニ付テハ第二號様式注意事項(第二號)ニ同シ

第八號様式

森林開墾制限(禁止)調書

附録

(一)開墾制限禁止ヲ要スル區域

國	郡	町村	大字	字	備
三河	大友	西田	東丸	大崩	考
ク	ク	ク	ク	大谷	
ク	ク	ク	ク	深山	
ク	ク	ク	ク	市谷	
ク	ク	ク	ク	一ノ谷	
ク	ク	ク	ク		

(二)開墾制限(禁止)ヲ要スル事由

前記ノ土地ハ何々川ノ西方ニ連互スル一帯ノ區域ニシテ地盤ノ傾斜十五度乃至二十度ナルモ其ノ上層ハ最モ結合方
 ニ乏シキ土壤ニシテ極メテ薄ク其ノ下層ハ總テ粘土板岩ヨリ成ル然ルニ該區域内ニ於ケル燒畑施行ノ實況ヲ見ルニ
 管ニ耕作上ノ收利尠キノミナラス山腹開墾ノ結果トシテ降雨アル毎ニ多量ノ土砂ヲ流出シ甚シキハ上層ト下層トノ
 結合ヲ破リテ處々地滑ヲ生シ何々河ノ治水ト影響ヲ生スルコト尠カラサルニ依リ之カ開墾ノ制限(禁止)ヲ爲スノ必
 要アルニ由ル

(三)制限事項

- 一 開墾チナサムトスルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコト
- 二 何々

第九號様式

森林開墾制限(禁止)調書

(一)開墾制限(禁止)ヲ要スル箇所

國	郡	町村	大字	字	地番	地目	面積	所有者住所氏名
三河	大友	西田	東丸	大崩	一	山林	一五〇〇〇〇	國郡(市)町村 何々(何々)森林組合地區内)
ク	ク	ク	ク	ク	二	ク	一〇〇〇〇	ク
ク	ク	ク	ク	ク	三	原野	一〇〇〇〇〇	ク
ク	ク	ク	ク	ク	四	畑	一〇〇〇〇	ク

(二)開墾制限(禁止)ヲ要スル事由

何々

(三)制限ヲ要スル事項

一何々

注意

森林組合地區内ノ森林ナルトキハ其ノ旨ヲ所有者欄ニ附記スヘシ

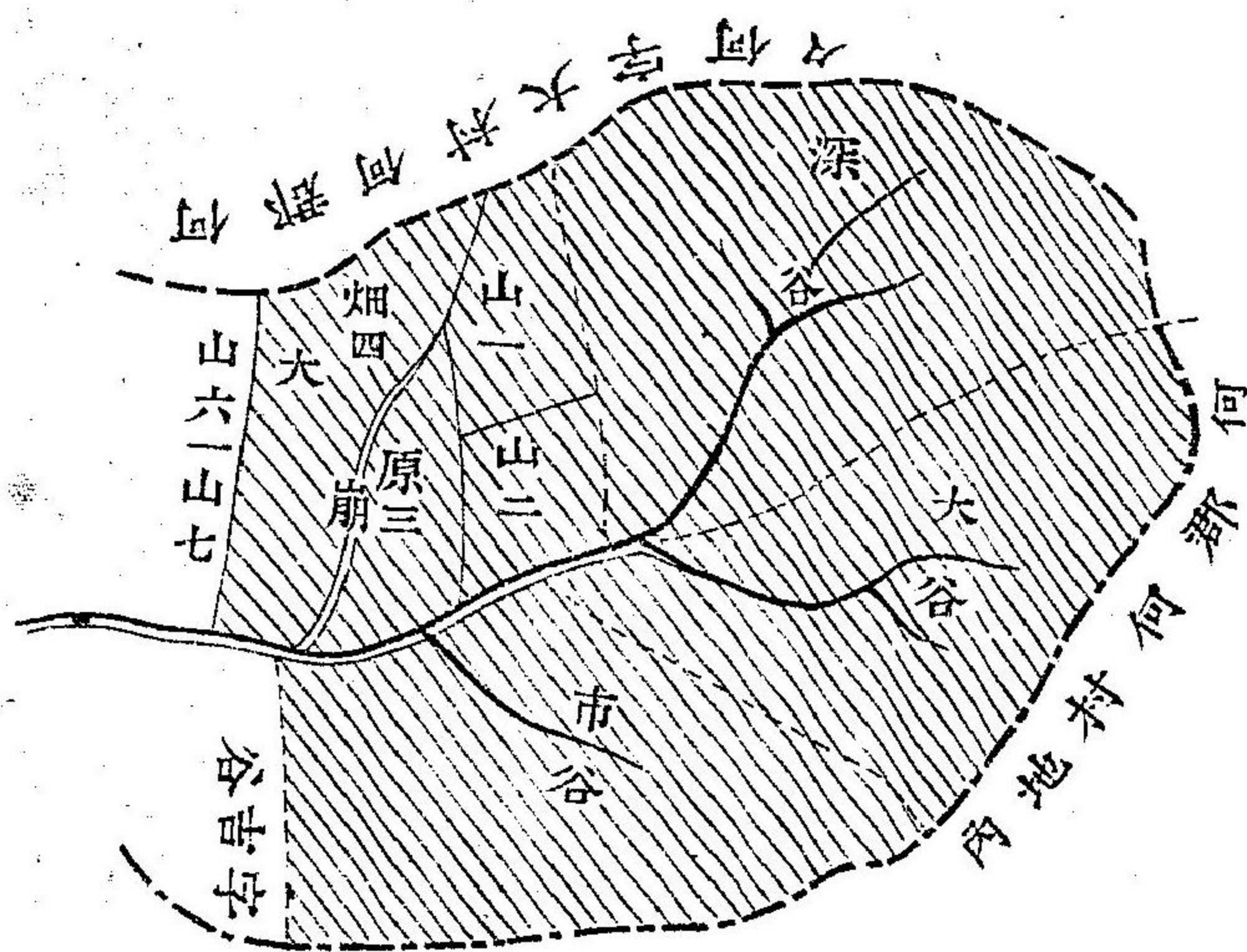
第十號樣式

開墾限制(禁止)區域(簡所)地圖

何國何郡何町(村)大字何字何字何字何字

縮尺何百一分

(大何字何字何字外十華山林)



注意

- 一 本圖ハ森林開墾制限(禁止)調書毎ニ作成スヘシ但シ制限又ハ禁止スヘキ箇所又ハ區域廣大ニシテ一圖トナシ難キモノハ切圖ト爲スモ妨ナシ
- 二 一字ノ全部ニ涉リテ制限又ハ禁止スヘキモノハ圖中ニ字名ノミヲ記入スヘシ但シ一字中或ル箇所ニ限り制限又ハ禁止スヘキモノハ字名ヲ記スルノ外其ノ地番、地目ヲ圖中ニ記入スヘシ
- 三 本圖ノ作成ハ第二號樣式注意事項第三號ニ同シ
- 四 用紙ハ第二號樣式注意事項第五號ニ同シ
- 五 開墾制限又ハ禁止スヘキ箇所又ハ區域ハ適宜着色ヲ施シ其ノ凡例ヲ圖中ニ記入スヘシ

第十一號樣式

森林開墾制限(禁止)解除調書

(一)解除ヲ要スル區域

國	郡	町村	大字	字	備	考
三河	大友	西田	東丸	大崩		
ク	ク	ク	西川	一ノ谷		

(二)解除ヲ要スル事由

前記ノ區域ハ明治何年所月何日以來開墾制限(禁止)中ノ處今回何々ノ事由ニ依リ之ヲ制限(禁止)ヲ解除スヘキ必要ヲ認ム

第十二號樣式

森林開墾制限(禁止)解除調書

(一)解除ヲ要スル箇所

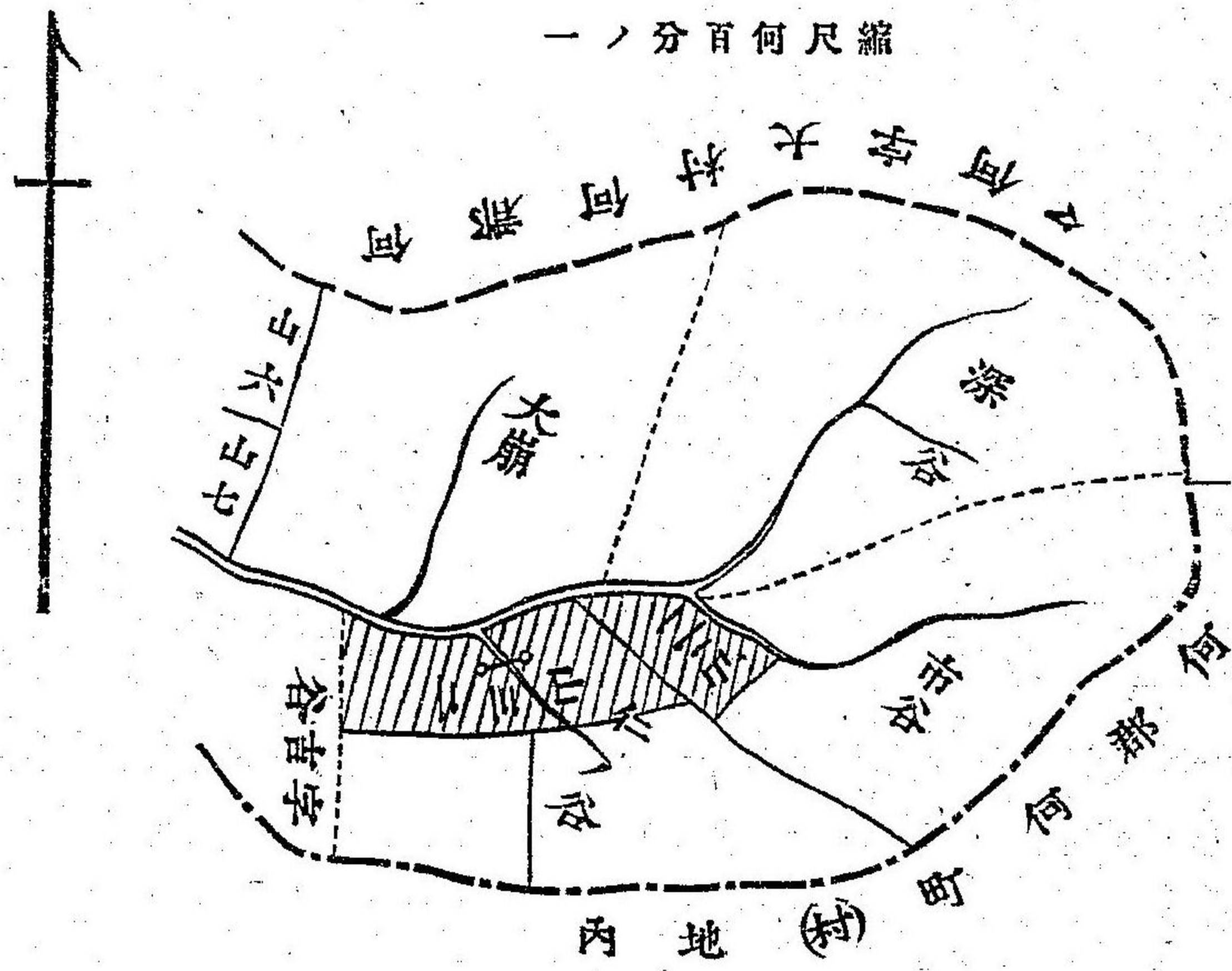
附錄

開墾限制(禁止)解除地圖

何國何郡何町何村(大字)何字何々内番

(ノ)モルセ(禁止)限制メ定テ区域

一ノ分百何尺縮



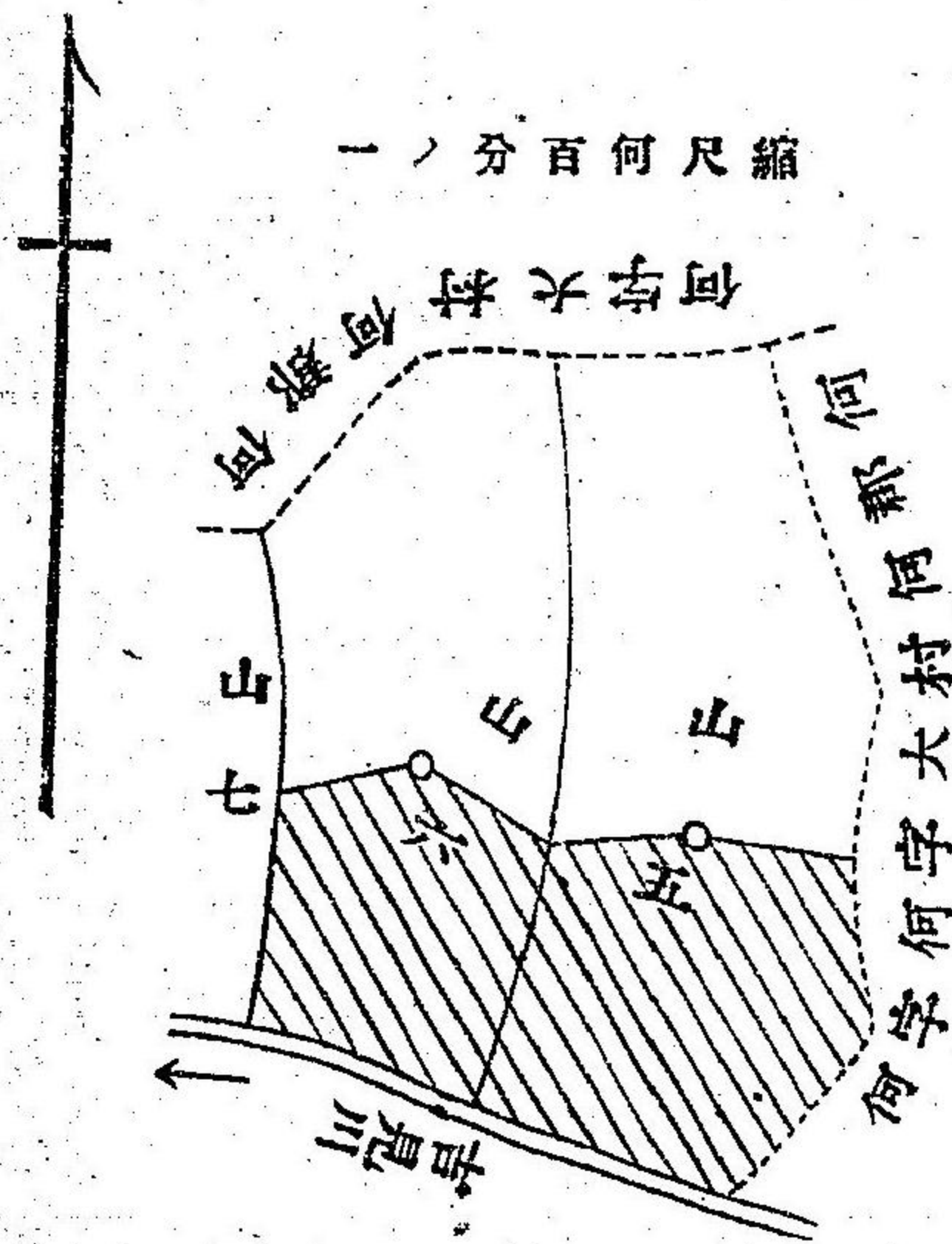
第十四號樣式

開墾限制(禁止)解除地圖

何國何郡何町何村(大字)何字何々番

(ノ)モルセ(禁止)限制メ定指テ所箇

一ノ分百何尺縮



第十三號樣式

前記ノ箇所ハ明治何年何月何日以來開墾制限(禁止)中ノ處今同何々ノ事由ニ依リ之ヲ制限(禁止)ヲ解除スヘキ必要ヲ認ム
 注意
 森林組合地區内ノ森林ナルトキハ其ノ旨所有者欄ニ附記スヘシ

(一)解除ヲ要スル事由

國	郡	町村	大字	字	地番	地目	面積	所有者住所氏名
三河	大友	西田	東丸	大山	一山	林	二五〇〇〇	國郡(市)町村 何某(何々)森林組合地區内
ク	ク	ク	ク	ク	三原野		三〇〇〇〇〇 一〇〇〇〇〇	

命令スヘキ事項	命令ヲ必要トスル事由	造林命令地				全面積		所有者(森林組合)	所在地
		林	地	區	面	實測又ハ見込	臺帳		
八	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
七	樹ヲ發生セリト雖一小部分ニシテ其ノ大部分ニ至リテハ今猶舊ノ雜草ノ繁生ニ委シテ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
六	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
五	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
四	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
三	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
二	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	
一	別項記載ノ如キ命令ヲ要スルナリ	本林地ハ元來蒼タル赤松ノ喬林ナリシカ今去ル何十年前ノ伐採ヲ爲シ爾後漸次稚樹ヲ生スルモ其ノ大部分ハ無立木	別紙圖面ノ通	二百三十町歩(百町歩)	二百三十町歩	二百三十町歩	國郡(市)町(村)大字番地何某(何々森林組合)	國郡(市)町(村)大字番地番(ノ内)(外何十番)地目	

注意

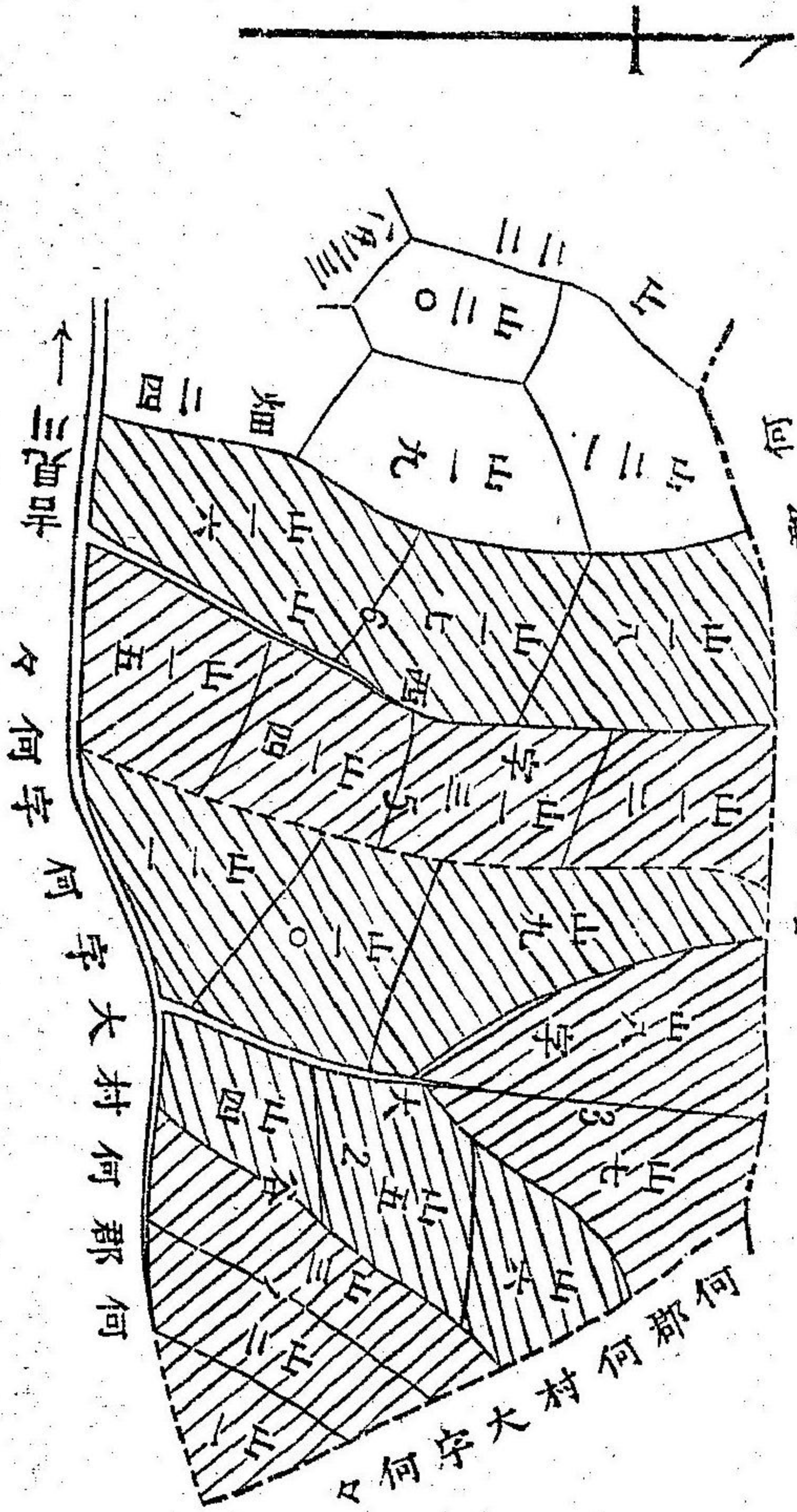
- 一 「所有地欄」 其二號樣式注意事項二同シ
- 二 「所有者欄」 第一號樣式注意事項二同シ
- 三 「面積欄」 造林ヲ命スヘキ面積ヲ記載スヘシ
- 四 「地況欄」 第一號樣式注意事項二同シ
- 五 「林況欄」 第二號樣式注意事項二同シ
- 六 調査ノ作成ニ付テハ第一號樣式注意事項第五號二同シ
- 七 調査ニ付テハ第一號樣式注意事項第六號二同シ

圖 城 區 地 令 命 林 造

第十何外番何、何字何字大(村)何何郡何國何

一ノノ分百何尺縮

第十六號樣式



地令命林造

注意

- 一 本圖作成ニ於テハ第一號樣式注意事項(第二號ヲ除ク)ニ同シ
- 二 造林ノ順位又ハ區劃ヲ定メタルトキハ亞刺比亞文字ニテ1、2、3ノ番號ヲ附スヘシ

第十七號樣式

造林事業豫算書

何國何郡何村大字何々字何々何番外何筆山林

何國何郡何村大字何々(共有)

義務者 何 某(何々森林組合)

一金何百何十圓

事業豫算總額

但シ明治何年何月何日付第何號ヲ以テ報告セル造林命令面積(ノ内)何町何段步ニ對スル新植事業

内譯

- 金何十圓何十錢 杉三年生二同床替苗木何万本買上代一本ニ付金五圓宛
- 金何圓何十錢 同上苗木何處ヨリ何處マテ里程何里間運搬賃額數何百箇一箇一里ニ付平均金何十錢
- 金何十圓 地摺用人夫何十人分賃金一人一日ニ付金何十錢一人一日ノ功程平均何畝何十步宛
- 金何十圓 植付用人夫何十人賃金一人一日ニ付金何十錢一人一日ノ功程苗木平均百二十本植

注意

- 一 造林事業豫算書ハ造林命令ノ範圍内ニ於テ之ヲ編成シ命令以外ノ事業ニ涉ルコトヲ得ス
- 二 本豫算案ハ可成節約ノ方針ヲ以テ編成スヘシ
- 三 事業ノ二箇年以上ニ涉リ繼續施行ヲ要スルモノハ別ニ年度別事業豫算明細書ヲ添附スヘシ

第十八號樣式

造林事業實行書

附錄

何國何郡何村大字何々字何々何番外何筆山林

何國何郡何村大字何々(共有)

義務者 何 某(何々森林組合)

一金何百何十圓

事業豫算總額

但シ明治何年何月何日付第何號ヲ以テ具申ノ分

一金何百何十圓

事業實行總額

但シ造林實行面積何町歩

内譯

金何十圓何十錢

杉三年生二回床替苗木何万本買上代一本ニ付金五厘宛

金何十圓何十錢

同上苗木何處ヨリ何處マテ里程何里間運搬費何百箇一箇一里ニ付平均金何十錢

金何十圓

地持用人夫何十人分賃金一人一日ニ付金何十錢一人一日ノ功程平均何故何十歩宛

金何十圓

植付用人夫何十人分賃金一人一日ニ付金何十錢一人一日ノ功程苗木平均百二十本植

差引金何十圓

豫算剩餘額

注意

事業ノ二箇年以上ニ渉ルモノハ年度別事業豫算明細書ニ準シテ毎年度實行報告書ヲ作り其ノ報告ヲ爲シ全部終了ノ後本様式ニ準シ總括書ヲ作り報告スヘシ

◎森林法ニ基ク臺帳規程

農商務省訓令第三十一號
明治四十年十二月二十六日

府 縣

森林法ニ基ク臺帳規程左ノ通相定ム

森林法ニ基ク臺帳規程

第一條 地方廳ハ左ノ臺帳ヲ備ヘ之ヲ保存整理スヘシ

一 保安林臺帳 保安林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス

二 公有林臺帳 公有林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス

三 社寺有林臺帳 社寺有林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス

四 森林組合臺帳 森林組合ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス

第二條 地方廳ハ適宜臺帳ヲ備ヘ左ノ事項ヲ登錄スヘシ

一 森林法第十三條、第三十二條又ハ第三十六條ノ規定ニ依ル禁止及制限ニ關スル事項

二 森林法第十條ノ規定ニ依ル施業方法指定ニ關スル事項

三 森林法第七條ノ規定ニ依ル造林命令ニ關スル事項

第三條 臺帳ハ郡市毎ニ之ヲ調製スヘシ

保安林臺帳ハ御料林、國有林、公有林、社寺有林、私有林ニ分チ口座ヲ設クヘシ

登錄スヘキ森林、森林組合又ハ事件ノ數僅少ナル場合其ノ他特殊ノ事由アル場合ニ於テ

ハ前二項ノ例ニ依ラサルコトヲ得

第四條 臺帳ニ付本規程ニ様式ノ定アルモノハ其ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 保安林臺帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 記入番號

二 保安林編入年月日

三 保安林ノ所在、字、地番、地目

四 所有者住所、氏名

五 保安林編入申請者住所、氏名

六 保安林ニ編入スヘキ土地ノ一筆(編入調書ノ一箇所)ノ全面積及其ノ編入面積

七 編入スヘキ區域

附 錄

八 保安林種類

九 使用收益ノ制限若ハ禁止又ハ施業及保護ノ方法ニ關スル指定事項

第六條 公有林臺帳及社寺有林臺帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 森林ノ所在、字、地番、地目

二 面積

三 所有者

四 施業案又ハ施業要領ヲ定メタル森林ニ在リテハ其ノ旨及認可ノ年月日

五 其ノ他必要ト認メタル事項

第七條 森林組合臺帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 名稱

二 目的及事業

三 地區

四 事務所

五 設立許可指令番號及年月日

六 設立登記年月日

七 事業年度

八 存立時期又ハ解散事由

第八條 臺帳ニ登錄又ハ記載シタル事項ノ變更、消滅アリタルトキ又ハ其ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其ノ都度訂正若ハ削除スヘシ

(第二項ハ四十二年三月農商務省訓令第五號ニ依リ削除)

第九條 森林法第百八條ニ該當スル保安林ハ其ノ調査終了ノ都度保安林臺帳ニ登錄スヘシ
第十條 臺帳ニ記載シタル事項ニ付利害關係ヲ有スル者ノ請求アリタルトキハ其ノ臺帳ノ閱覽ヲ許可スヘシ

附 則

第十一條 本規程ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年訓令第三十二號ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十二條 本規程施行以前ノ保安林臺帳ハ之ヲ本規程ニ依ル臺帳ト看做スコトヲ得

保安林假臺帳ハ森林法施行手續第二十八條ノ規程ニ依ル調査終了迄本規程ニ定ムル保安林臺帳ニ代用スルコトヲ得

第九條ノ規程ニ依リ保安林臺帳ニ登錄シタルトキハ保安林假臺帳ヨリ其ノ保安林ニ關スル登錄ヲ削除スヘシ

保安林假臺帳ニ登錄若ハ記載シタル事項ノ訂正若ハ削除ニ關シテハ第八條ノ規定ヲ準用ス

第一號様式

備考	保安林種類	編入面積	編入區域	別紙圖面ノ通	全面積		申請者	所在地	年月番 日號
					實測又ハ見込	臺帳			
五 其 他 云 々	水源涵養林	三十五町步			七十八町五段步	七十八町五段步	國郡(町)市(村) 何々町(村)長	國郡(市)町(村)大字 何某(何々森林組合地區内)	
四 現 在 無 立 木 地 面 積 何 段 步 ハ 今 後 五 箇 年 内 ニ 道 林 ヲ 施 行 ス ヘ シ	一 林 木 ハ 何 十 年 生 ニ 達 セ サ レ ハ 伐 採 ス ル コ ト ヲ 得 ス 二 伐 採 ハ 擇 伐 法 ニ 依 リ 一 箇 年 ノ 伐 採 面 積 何 町 步 以 下 タ ル ヘ シ 三 土 石 ノ 積 掘 ハ 何 々 場 所 ヲ 限 リ 落 葉 ノ 採 收 ハ 之 ヲ 爲 ス コ ト ヲ 得 ス 五 其 他 云 々								

注意

- 一 用紙ハ美濃紙トス
- 二 圖面ハ別ニ整理シ臺帳番號ヲ記入スヘシ
- 三 「年月日欄」ニハ編入年月日ヲ記載スヘシ
- 四 「番號欄」ニハ臺帳番號ヲ記載スヘシ
- 五 「全面積欄」ニハ臺帳面積又實測又ハ見込面積ヲ記載スヘシ

第二號様式

區	地	事 目 的 業 及	名 稱	事務所	設立許可 指合番號 及年月日	設立登記 年月日	事業年度	存立時期 又ハ解散 事由	備考

- 六 森林法第二十八條第三項ニ依ル補償金額及同條但書ニ依ル補償ノ負擔ヲ命シタルモノ及其ノ負擔歩合ハ之ヲ備考ニ記載スヘシ
- 七 「備考欄上部ノ空欄」ニハ保安林調査番號ヲ記載スヘシ

明治四十二年六月八日印刷
明治四十二年六月十一日發行

正政森林法釋義與付

正價金七拾錢

不許複製

著作者 永田 漸

發行者 江草 重忠

印刷者 松澤 虹三

印刷所 同・勞 舍

東京市神田區下六番町十七番地

東京市麴町區下六番町十七番地

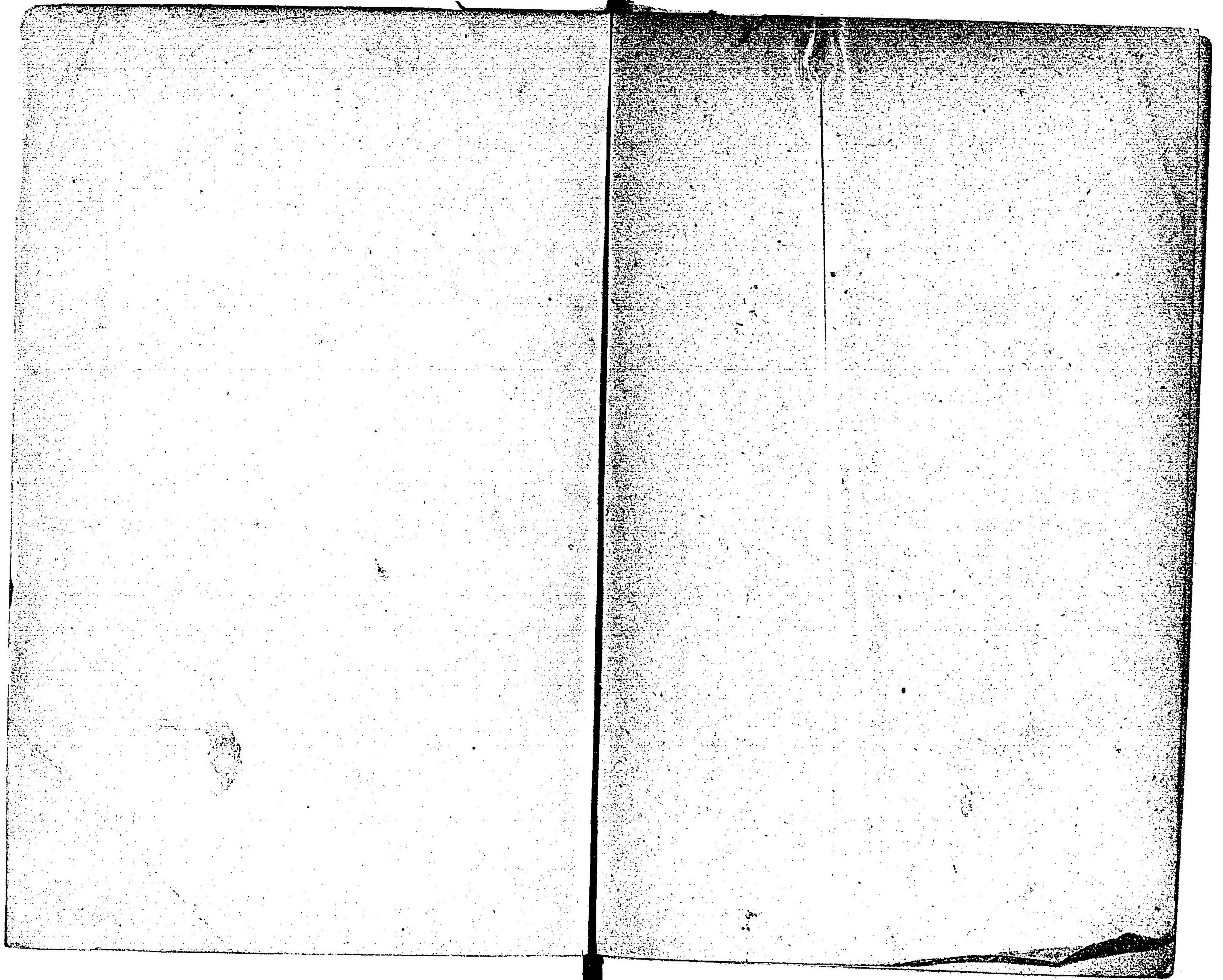
東京市神田區一ツ橋通町七番地

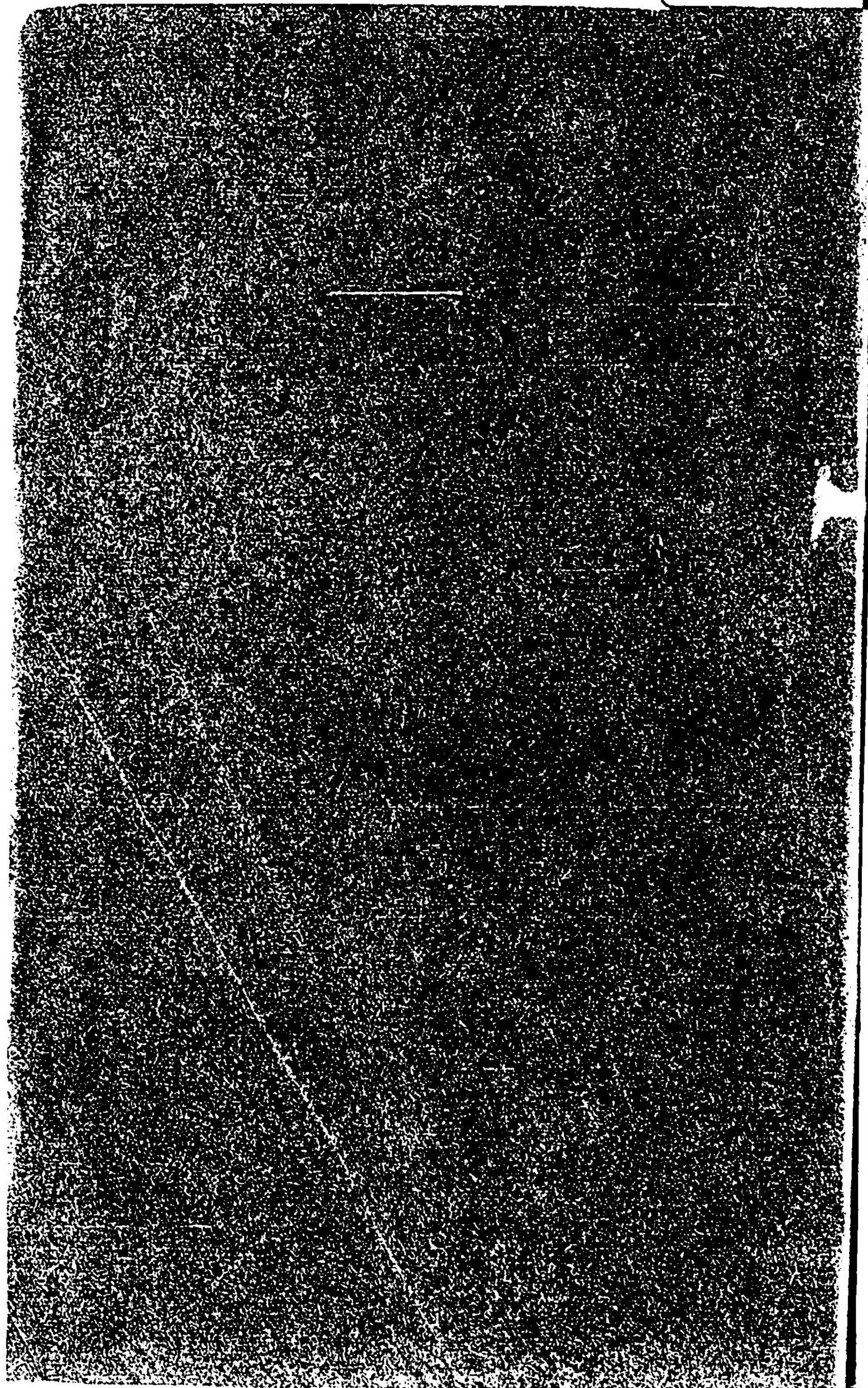
發行所
發賣所

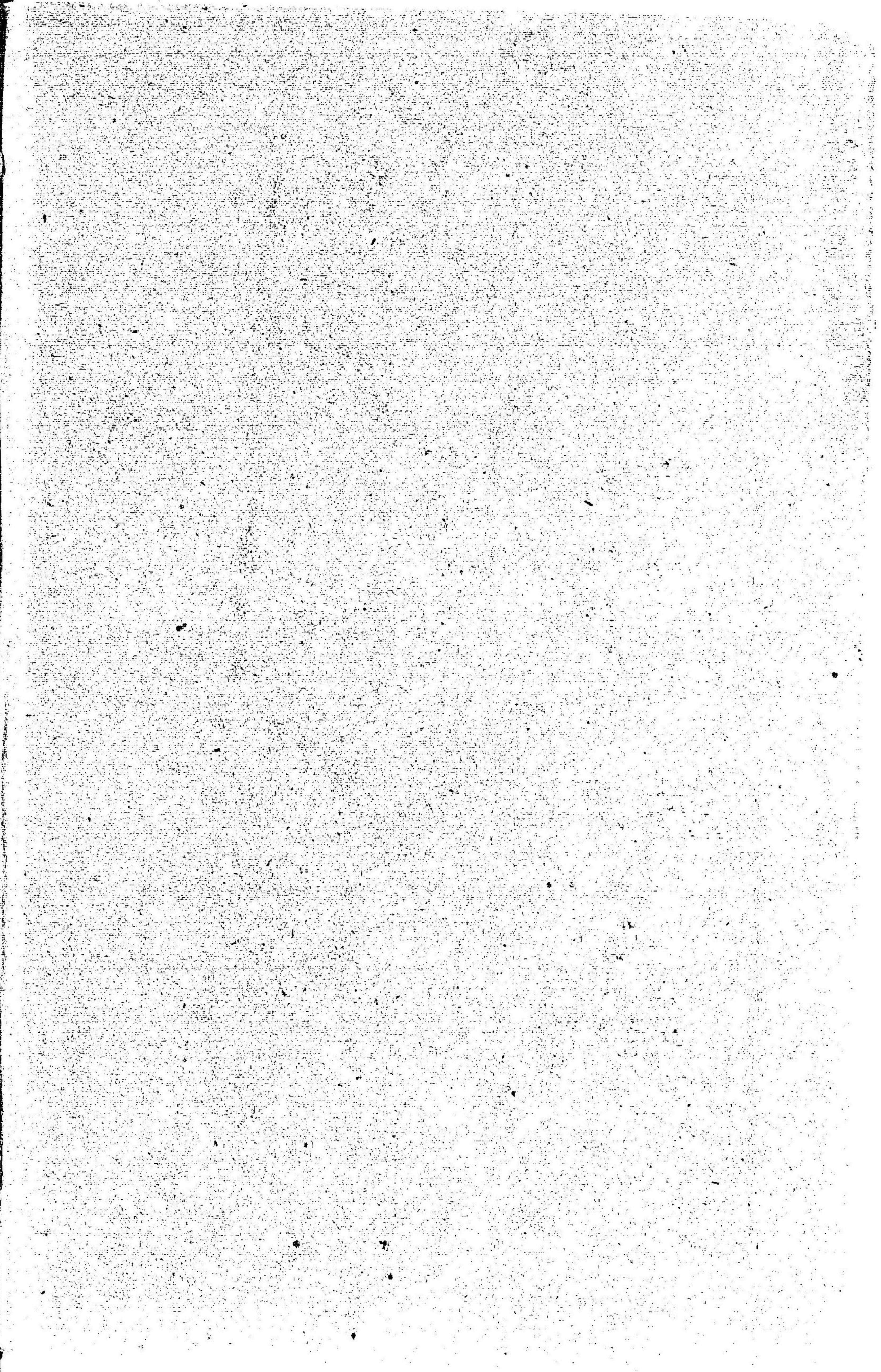
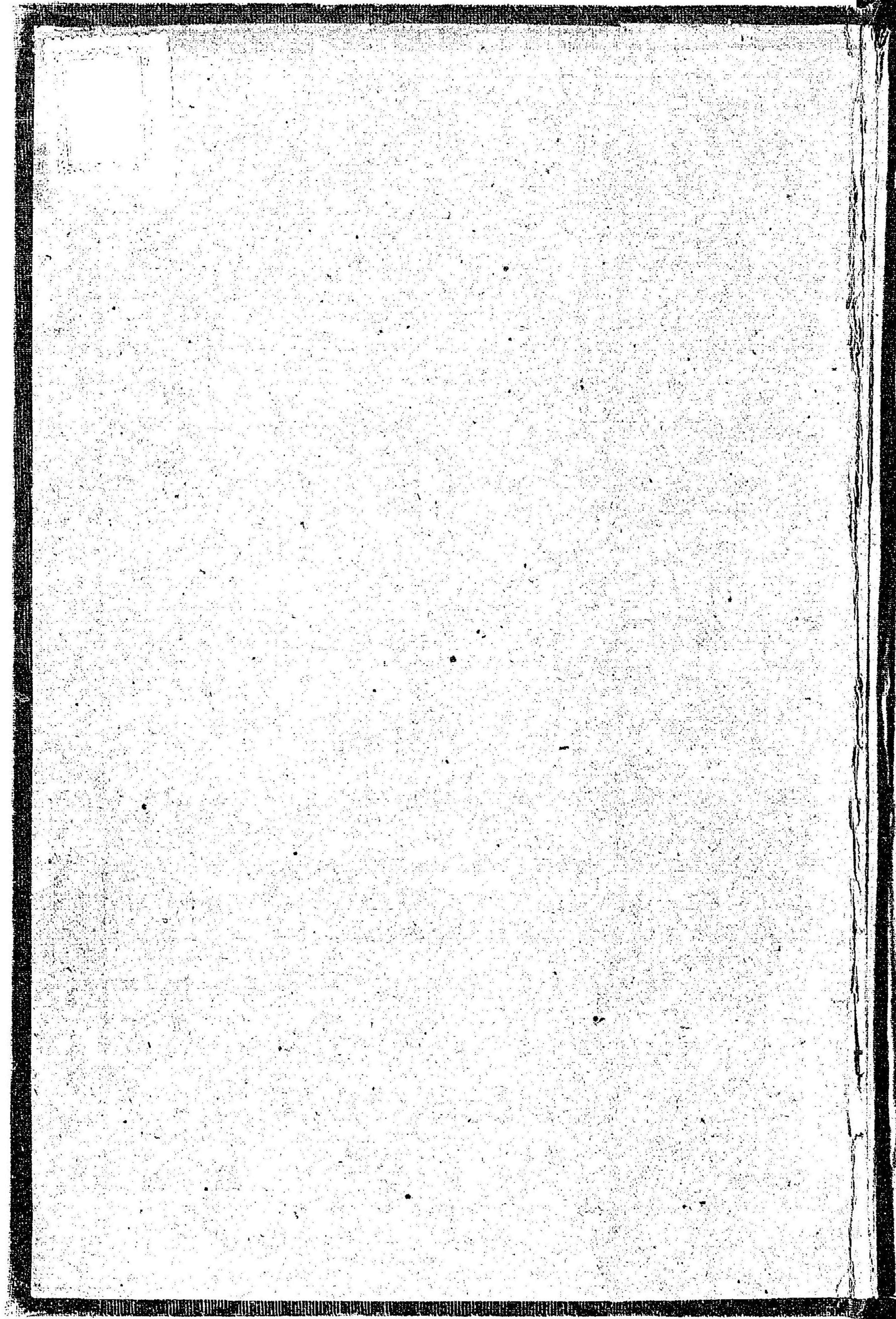
(電話本局二四五二番)

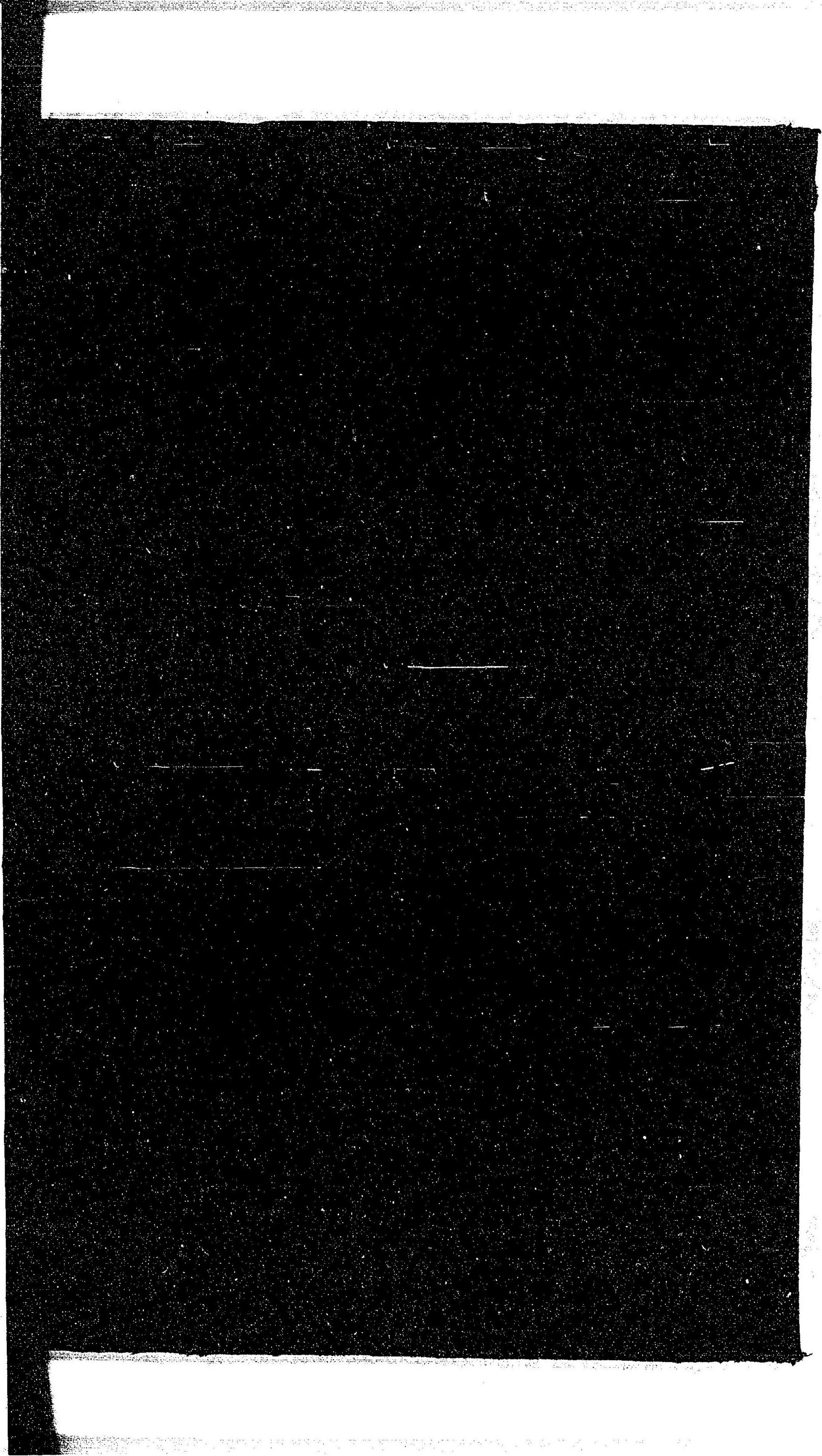
(電話本局三三三番)
郵便貯金口坐三七〇番

東京市神田區南神保町十三番地
有斐閣本店
東京市神田區一ツ橋通町七番地
有斐閣書房









91
201

037666-000-7

91-201

森林法釈義 (改正)

永田 漸 / 著

M42

BBU-0296



